

# 大牟田市総合計画 2006～2015 後期基本計画

## 重点施策の達成状況報告書

(計画期間：平成 23 年度～平成 27 年度)

平成 28 年 12 月

大 牟 田 市

## 目 次

|                         |    |
|-------------------------|----|
| 1. 重点施策の達成状況報告書について     | 1  |
| 2. 総合計画と行政評価について        | 1  |
| 3. 行政評価による総合計画の進捗管理について | 2  |
| 4. 重点施策の達成状況（全体・編別）について | 3  |
| 5. 重点施策の達成状況（施策別）について   | 6  |
| 第1編 産業の振興（7施策）          | 8  |
| 第2編 都市基盤の整備（4施策）        | 15 |
| 第3編 生活環境の整備（13施策）       | 19 |
| 第4編 健康・福祉の向上（8施策）       | 32 |
| 第5編 教育文化の向上（6施策）        | 40 |
| 計画の推進（7施策）              | 46 |

## 1. 重点施策の達成状況報告書について

「大牟田市総合計画 2006～2015」は、大牟田市で暮らすすべての市民が、わがまちを愛し、わがまちの誇りを高めていくための、10年間にわたるまちづくりの指針となるものです。

この総合計画では、前期・後期基本計画を策定し、それぞれ基本計画では、さらに3年ごとに実施計画を策定し、各施策の効果的な推進を図ってきました。また、各編の章ごとに重点施策を定め、施策を進めていくための活動の目標を数値化した「活動指標」と、平成27年度における活動の成果の目標である「成果指標」を設定しています。

この「重点施策の達成状況報告書」は、平成23年度から平成27年度までの5年間の取り組みの結果（成果指標の達成状況）をまとめ、皆様にお知らせするものです。

### 〔総合計画の構成と期間〕

|      | 2006<br>平成<br>18年度 | 19年度 | 20年度    | 21年度 | 22年度 | 23年度    | 24年度 | 25年度    | 26年度 | 2015<br>平成<br>27年度 |
|------|--------------------|------|---------|------|------|---------|------|---------|------|--------------------|
| 基本構想 | 基本構想               |      |         |      |      |         |      |         |      |                    |
| 基本計画 | 前期基本計画             |      |         |      |      | 後期基本計画  |      |         |      |                    |
| 実施計画 | 第1期実施計画            |      | 第2期実施計画 |      |      | 第1期実施計画 |      | 第2期実施計画 |      |                    |

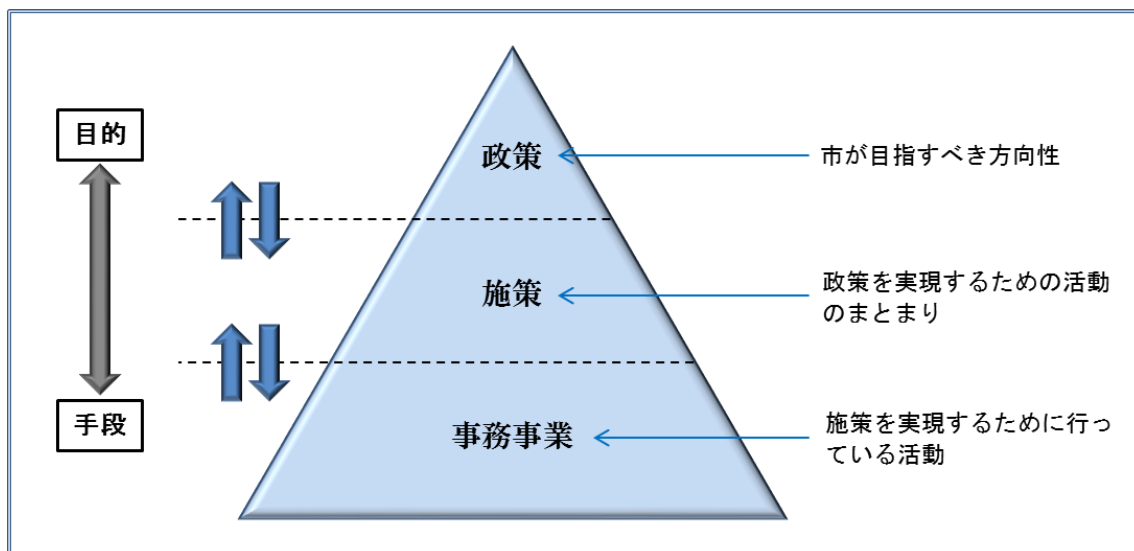
## 2. 総合計画と行政評価について

大牟田市総合計画 2006～2015 では、『やさしさとエネルギーあふれるまち・おおむた』をキャッチフレーズに掲げ、市民と一体となってまちづくりを進めるため、「いこい、やすらぐ安心都市」、「活力と創意にあふれる産業都市」、「市民と歩む自立都市」の三つの都市像を描いています。

この三つの都市像の実現に向けては、「5つの施策の大綱と計画の推進（政策）」掲げ、その下に施策（うち重点施策は45）、事務事業を位置付け、総合計画の体系を構築しています。

また、取組みを進めていく中では、市民を主体とした成果重視の効率的な行政運営の推進に資するとともに、市民への説明責任の確保と行政の透明性の向上、並びに職員の意識改革と政策形成能力の向上を図り、市民満足度の向上を目指すため「行政評価」制度を導入し、総合計画に掲げる施策について進捗管理を行っています。

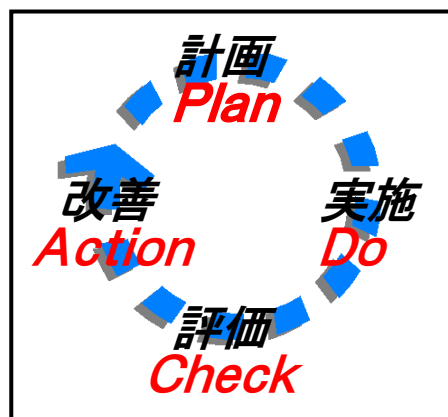
### [総合計画の体系]



### 3. 行政評価による総合計画の進捗管理について

総合計画の進捗管理は、行政評価を行うことで成果の把握等ができる仕組みとなっています。

行政評価においては、毎年度、「重点施策」とその施策を構成する「事務事業」について、計画（Plan）→ 実施（Do）→ 評価（Check）→ 改善（Action）→ 次の計画へといったサイクルの過程の中で、評価を行っています。その評価により、目標に掲げた成果が達成されているか、達成されていない場合はどこに原因があるのかを分析し、改善を図ることで目標の達成を目指しています。



このように、本市では、PDCA サイクルを確立しながら、進捗管理を行っていくことで、総合計画の実現を図っているところです。

従って、「重点施策の達成状況」の詳細は、行政評価の診断書でご覧いただけます。

※行政評価の施策診断書については、市のホームページ (<http://www.city.omuta.lg.jp>) で確認できます。

#### 4. 重点施策の達成状況（全体・編別）について

下の表は、重点施策名とその達成状況についての評価を表したものです。

各重点施策の達成状況（評価）については、担当部署により4区分で評価しています。

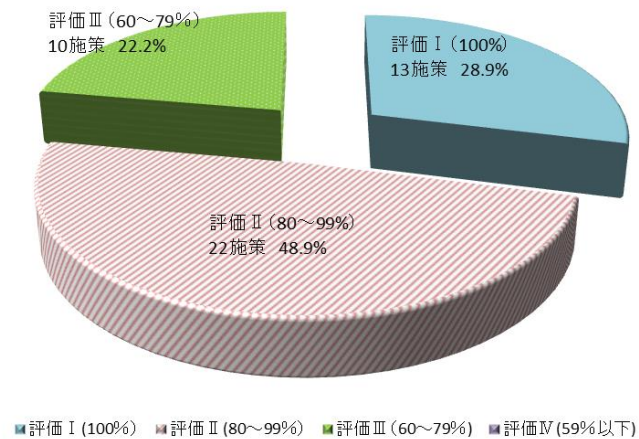
（評価Ⅰ：100%、評価Ⅱ：80～99%、評価Ⅲ：60～79%、評価Ⅳ：59%以下）

| 編           | 章        | 施策                   | 評価          | 掲載頁 |
|-------------|----------|----------------------|-------------|-----|
| 産業の振興       | 企業立地     | 企業誘致活動の推進            | Ⅱ           | 8   |
|             | 地域の企業    | 企業競争力の強化             | Ⅱ           | 9   |
|             | 商業・サービス業 | 商店街の活性化              | Ⅲ           | 10  |
|             |          | 三池港の利用促進             | Ⅱ           | 11  |
|             | 観光・イベント  | 大蛇山など各種イベントの充実       | Ⅲ           | 12  |
|             | 農林水産業    | 担い手の育成               | Ⅱ           | 13  |
|             |          | 水産業生産基盤の充実           | Ⅱ           | 14  |
| 都市基盤の整備     | 土地利用     | 低未利用地の有効活用           | Ⅰ           | 15  |
|             | 市街地整備    | 中心市街地の環境整備           | Ⅲ           | 16  |
|             | 道路       | 幹線道路の整備              | Ⅲ           | 17  |
|             | 交通ネットワーク | 三池港の整備               | Ⅱ           | 18  |
| 生活環境の整備     | 住宅・住環境   | 住宅セーフティネットの推進        | Ⅰ           | 19  |
|             | 公園・緑地    | 緑化の推進                | Ⅰ           | 20  |
|             | 上水道      | 安全で安定した水の供給          | Ⅰ           | 21  |
|             | 下水道      | 生活排水対策及び浸水対策の推進      | Ⅱ           | 22  |
|             | 河川       | 浸水対策の推進              | Ⅰ           | 23  |
|             | 環境       | 温暖化対策の推進             | Ⅱ           | 24  |
|             |          | 食品衛生対策の推進            | Ⅱ           | 25  |
|             |          | 一般廃棄物（ごみ）の減量化・資源化の推進 | Ⅰ           | 26  |
|             | 安心・安全    | 火災予防行政の充実            | Ⅲ           | 27  |
|             |          | 防災対策の推進              | Ⅰ           | 28  |
|             |          | 防犯活動の充実              | Ⅱ           | 29  |
|             |          | 交通安全対策の推進            | Ⅲ           | 30  |
|             |          | 消費者行政の推進             | Ⅱ           | 31  |
| 健康・福祉の向上    | 地域福祉     | 地域福祉の推進              | Ⅲ           | 32  |
|             | 高齢社会への対応 | 地域包括ケアの推進            | Ⅰ           | 33  |
|             | 次世代育成    | 地域における多様な子育て支援       | Ⅱ           | 34  |
|             | 障害保健福祉   | 障害者の生活支援             | Ⅱ           | 35  |
|             | 勤労者福祉    | 雇用対策の促進              | Ⅱ           | 36  |
|             | 健康づくり    | 食育の推進                | Ⅲ           | 37  |
|             |          | 地域保健医療の充実            | Ⅰ           | 38  |
|             | 社会保障     | 国民健康保険事業の健全な運営       | Ⅲ           | 39  |
| 教育文化の向上     | 生涯学習     | 生涯学習ボランティアの育成と支援     | Ⅰ           | 40  |
|             | 青少年育成    | 子どもの生きる力をはぐくむ体験活動の充実 | Ⅱ           | 41  |
|             | 学校教育     | 学校再編整備の推進            | Ⅰ           | 42  |
|             | 高等教育     | 産学連携強化の促進            | Ⅰ           | 43  |
|             | 文化芸術     | 世界遺産本登録に向けた取り組みの推進   | Ⅱ           | 44  |
|             | スポーツ     | 多様なスポーツ活動の機会づくりの推進   | Ⅲ           | 45  |
|             | 計画の推進    | 市民との協働               | 地域コミュニティの形成 | Ⅱ   |
| 人権の尊重       |          | 啓発活動の推進              | Ⅱ           | 47  |
| 男女共同参画社会の形成 |          | 政策・方針決定過程への女性の参画促進   | Ⅱ           | 48  |
| 行財政運営       |          | 効果的な施策の推進            | Ⅱ           | 49  |
| 高度情報化への対応   |          | 電子市役所の構築             | Ⅱ           | 50  |
| 広域連携        |          | 広域的行政運営の推進           | Ⅱ           | 51  |
| 国際交流        |          | 友好・姉妹都市交流の推進         | Ⅰ           | 52  |

図1は、45ある「重点施策」の目標達成状況（評価）を集計し、グラフで表したものです。

45ある重点施策のうち、13の重点施策で目標を達成（評価Ⅰ）し、また、22の重点施策で概ね目標を達成（評価Ⅱ）しており、これらを合わせると重点施策（45施策）中、35施策、全体の8割弱（77.7%）で進捗が見られました。

【図1 重点施策の達成状況（全体）】



【図2 重点施策の達成状況（編別）】

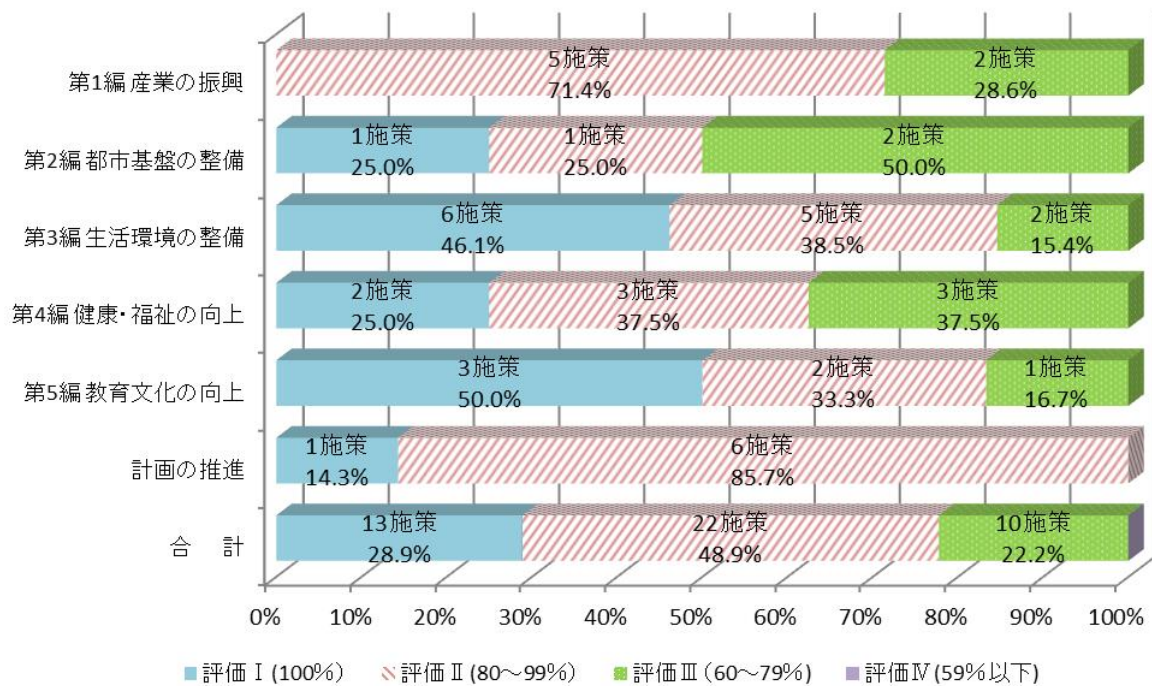
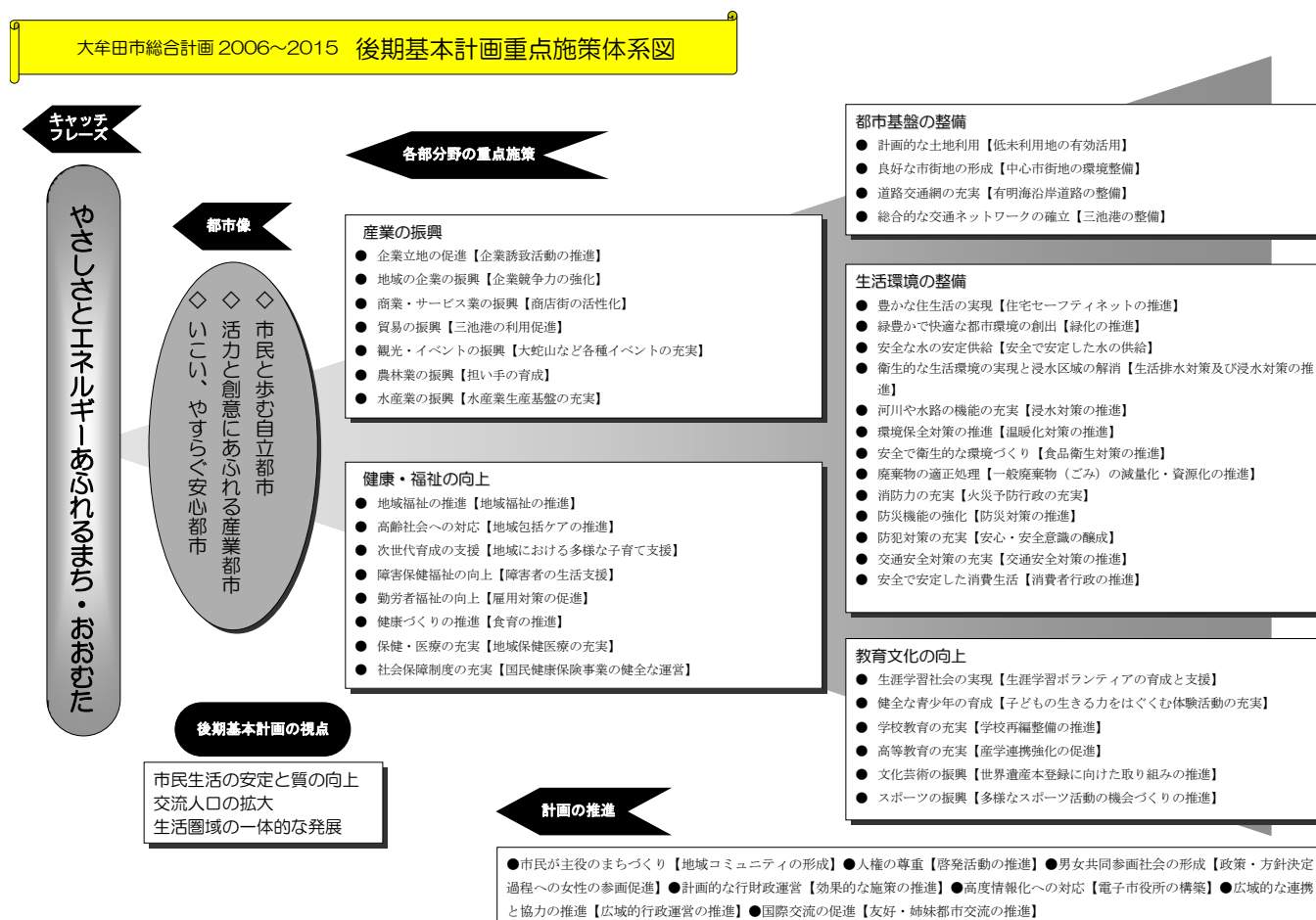


図2は、大牟田市総合計画 2006～2015 後期基本計画（平成 23～27 年度）の編別に「重点施策」の目標達成状況（評価）を集計し、グラフにしたもので、編ごとの達成状況（評価）を表しています。

- ※ 後期基本計画の重点施策に係る成果指標や活動指標については、計画策定後の環境変化等を踏まえ、随時、見直しを行ってきました。成果指標や活動指標の見直し状況については、後段の重点施策の達成状況（施策別）や行政評価の「施策診断書」、「事業診断書」で確認できます。
- ※ 大牟田市総合計画 2006～2015 の期間中（10 年）における取組状況については、平成 28 年度からの新しい総合計画である「まちづくり総合プラン」の中において、「大牟田市総合計画 2006～2015 のふり返り（P18～21）」として示しています。

（参考資料）



## 5. 重点施策の達成状況（施策別）について

8ページ以降に、重点施策ごとの達成状況を掲載しています。表の見方は次のとおりです。

### 1. 大牟田市総合計画2006～2015後期基本計画の体系

|   |  |   |  |   |  |
|---|--|---|--|---|--|
| 編 |  | 章 |  | 節 |  |
|---|--|---|--|---|--|

①

### 2. 重点施策の名称

|     |  |
|-----|--|
| 施策名 |  |
|-----|--|

②

### 3. 施策の目的と担当部署等

|              |  |
|--------------|--|
| 施策目的<br>(意図) |  |
| 担当部署         |  |
| 関係部署         |  |

③

### 4. 平成27年度における成果指標及び達成状況等

|                |  |
|----------------|--|
| 成果指標           |  |
| 成果指標<br>(H 変更) |  |
| 変更理由           |  |

④

(年度毎の達成状況)

| 年<br>指標 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 5年間の<br>達成状況 |
|---------|------|------|------|------|------|--------------|
|         |      |      |      |      |      |              |
|         |      |      |      |      |      |              |

⑤

### 5. 重点施策に係る成果と評価

|                     |  |
|---------------------|--|
| 5年間の成果<br>(H23～H27) |  |
| 評価                  |  |

⑥



## 【表の見方と説明】

- ① 大牟田市総合計画 2006～2015 後期基本計画の編・章・節の名称です。
- ② 重点施策の名称を示しています。重点施策は全部で 45 施策あります。  
重点施策を途中で変更したものについては、変更した年度と変更後の重点施策名を示しています。変更理由については、成果指標の変更理由を参照して下さい。
- ③ この重点施策を行う目的（意図）、担当部署、関係する部署を示しています。  
重点施策を変更している場合は、最終の重点施策に係る目的（意図）を表しています。
- ④ 平成 27 年度（後期基本計画の終了年度）における重点施策の成果指標（目標値）を示しています。  
成果指標を途中で変更したものについては、変更した年度と変更後の成果指標、また、その理由を示しています。
- ⑤ 成果指標ごとに「年度ごとの達成状況」と「5 年間の達成状況」を示しています。なお、毎年の達成目標がある場合（例：利用者数 1,000 人/年）の「5 年間の達成状況」は、最終年度（平成 27 年度）の数値を達成状況としています。  
成果指標を途中で変更している場合は、「（変更後）」として下段に示しています。
- ⑥ 担当部署により、重点施策に係る 5 年間（平成 23～27 年度）の成果を、文章により記載しています。  
また、担当部署により、重点施策に係る評価を、以下の 4 区分で評価しています。なお、重点施策を途中で変更している場合は、最終の重点施策に係る評価を表しています。

※総合計画に掲げる成果指標のみで判断しているものではなく、重点施策（施策診断書）に掲げる成果指標すべてについて、担当部署において総合的に評価を行っています。

|    |        |     |        |
|----|--------|-----|--------|
| I  | 100%   | III | 60～79% |
| II | 80～99% | IV  | 59%以下  |

※大牟田市総合計画 2006～2015 後期基本計画では、重点施策の成果指標を施策ごとに 1 つ定めていますが、行政評価に係る施策診断書においては、成果指標を複数掲げ施策を推進しています。

なお、施策診断書については、市のホームページ（<http://www.city.omuta.lg.jp>）にて公表しています。

1. 大牟田市総合計画2006～2015後期基本計画の体系

|     |       |     |      |   |   |
|-----|-------|-----|------|---|---|
| 1 編 | 産業の振興 | 1 章 | 企業立地 | 節 | — |
|-----|-------|-----|------|---|---|

2. 重点施策の名称

|     |           |
|-----|-----------|
| 施策名 | 企業誘致活動の推進 |
|-----|-----------|

3. 施策の目的と担当部署等

|              |   |
|--------------|---|
| 施策目的<br>(意図) | 企業誘致や市内企業の新たな事業展開等を推進し、地域経済の活性化（産業創出、雇用創出、税収向上、取引拡大等）を図ります。 |
| 担当部署         | 産業経済部産業振興課  |
| 関係部署         | —   |

4. 平成27年度における成果指標及び達成状況等

|      |                  |
|------|------------------|
| 成果指標 | 立地（増設を含む） 20社／5年 |
|------|------------------|

（年度毎の達成状況）

| 年<br>指標 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 5年間の<br>達成状況 |
|---------|------|------|------|------|------|--------------|
| 立地      | 7社   | 7社   | 4社   | 3社   | 6社   | 27社          |

5. 重点施策に係る成果と評価

|                     |   |
|---------------------|---|
| 5年間の成果<br>(H23～H27) | <p>国・県等の関係機関と連携し、積極的な企業訪問や各種支援を行ってきた結果、平成14年度に本格分譲を開始した「大牟田テクノパーク」については、平成25年12月に完売し、立地は進んでいる状況にあります。</p> <p>成果指標に掲げる立地（増設含む）については、平成23～27年度までの5年間で27社と目標を達成しましたが、企業活動の変化等により、立地（増設）に伴う雇用が低調（443名）な状況にあるため、評価をⅡとしています。</p> <p>今後も引き続き、みなと産業団地や大牟田エコタウン、民間所有の工場適地等の積極的なPR活動、企業訪問活動を行い、企業誘致の実現を図ることで、一人でも多くの雇用創出を図っていきます。</p> |
| 評価                  | Ⅱ   |

1. 大牟田市総合計画2006～2015後期基本計画の体系

|     |       |     |       |   |   |
|-----|-------|-----|-------|---|---|
| 1 編 | 産業の振興 | 2 章 | 地域の企業 | 節 | — |
|-----|-------|-----|-------|---|---|

2. 重点施策の名称

|     |          |
|-----|----------|
| 施策名 | 企業競争力の強化 |
|-----|----------|

3. 施策の目的と担当部署等

|              |  |
|--------------|--|
| 施策目的<br>(意図) | (公財)大牟田市活性化センターなどと連携して、地域の企業における企業取引のマッチング、企業活動の基盤である人材の確保・育成支援などの取組みを通じて、企業の生産改善課題の解決、取引拡大などを側面から支援し、地域産業の活性化に資することを目的としています。 |
| 担当部署         | 産業経済部産業振興課   |
| 関係部署         | —  |

4. 平成27年度における成果指標及び達成状況等

|      |                     |
|------|---------------------|
| 成果指標 | 企業間取引のマッチング件数：10件/年 |
|------|---------------------|

(年度毎の達成状況)

| 年<br>指標           | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 5年間の<br>達成状況    |
|-------------------|------|------|------|------|------|-----------------|
| 企業間取引の<br>マッチング件数 | 5件   | 5件   | 11件  | 16社  | 11社  | 48件<br>※年平均9.6件 |

5. 重点施策に係る成果と評価

|                     |   |
|---------------------|---|
| 5年間の成果<br>(H23～H27) | <p>(公財)大牟田市地域活性化センター、大牟田商工会議所などの関係機関と連携を図りながら、地域企業の技術開発や取引拡大をはじめとするニーズや課題に対応しました。</p> <p>特に、活性化センターに配置するアドバイザー等の活動を通じ、地域企業を延べ1,939社訪問(年間387社)し、企業間取引が48件(年間9.6件)成立したほか、企業の新事業展開や技術開発に対する支援も取り組んできました。</p> <p>また、地域企業の人材確保について企業合同面談会を開催し、更に、人材育成についても品質管理セミナーを開催するなど支援を行いました。</p> |
| 評価                  | II  |

# 1. 大牟田市総合計画2006～2015後期基本計画の体系

|     |       |     |          |     |          |
|-----|-------|-----|----------|-----|----------|
| 1 編 | 産業の振興 | 3 章 | 商業・サービス業 | 1 節 | 商業・サービス業 |
|-----|-------|-----|----------|-----|----------|

## 2. 重点施策の名称

|     |         |
|-----|---------|
| 施策名 | 商店街の活性化 |
|-----|---------|

## 3. 施策の目的と担当部署等

|              |   |
|--------------|---|
| 施策目的<br>(意図) | 少子高齢化が進展する本市において、市内の商店街は、市民の暮らし、日常生活を支える商業施設として重要な役割・機能を有しています。市民が必要とする身近で便利な買い物が行える商業施設を充実し、商店街の活性化、都市機能の向上を推進します。 |
| 担当部署         | 産業経済部商業観光課  |
| 関係部署         | —   |

## 4. 平成27年度における成果指標及び達成状況等

|      |                              |
|------|------------------------------|
| 成果指標 | 中心商店街・県堺地区歩行量：10%増（21年度比）（※） |
|------|------------------------------|

（年度毎の達成状況）

| 年<br>指標  | 23年度    | 24年度    | 25年度    | 26年度    | 27年度    | 5年間の<br>達成状況 |
|----------|---------|---------|---------|---------|---------|--------------|
| 中心商店街歩行量 | 16,489人 | 15,771人 | 15,998人 | 14,269人 | 11,251人 | 11,251人      |
| 県堺地区歩行量  | 401人    | 348人    | 261人    | 355人    | 220人    | 220人         |

※（参考）目標値：中心商店街 20,236人、県堺地区 261人  
 （基準値）H21年度：中心商店街 18,396人、県堺地区 1,658人  
 （目標値の変更）H26年度：県堺地区の商業施設の閉店に伴い県堺地区歩行量の目標値を1,824人から261人に見直し

## 5. 重点施策に係る成果と評価

|                     |  |
|---------------------|--|
| 5年間の成果<br>(H23～H27) | <p>人口減少、少子高齢化の進展等による購買力の低下に加え、大型店の出店やインターネットの販売普及等による消費行動が大きく変化する中、本市の商店街は、歩行量の減少傾向が続いており、依然として厳しい状況にあります。</p> <p>このような中、中心市街地においては、まちづくり基金事業や商店街小規模ソフト事業の活用に加え、まちに新たな価値や思いを持った若手経営者や出店希望者による商店街活性化の動きが出てきています。</p> <p>引き続き、若手経営者や出店希望者の新規事業展開を支援するとともに、各商店街が実施するイベント等のまちづくり活動を積極的に促進し、まちの賑わいづくりと個性豊かで魅力的な商業空間の創出による都市機能の充実を推進します。</p> |
| 評価                  | Ⅲ  |

1. 大牟田市総合計画2006～2015後期基本計画の体系

|     |       |     |          |     |    |
|-----|-------|-----|----------|-----|----|
| 1 編 | 産業の振興 | 3 章 | 商業・サービス業 | 2 節 | 貿易 |
|-----|-------|-----|----------|-----|----|

2. 重点施策の名称

|     |          |
|-----|----------|
| 施策名 | 三池港の利用促進 |
|-----|----------|

3. 施策の目的と担当部署等

|              |   |
|--------------|---|
| 施策目的<br>(意図) | 県南地域の物流拠点港として、コンテナ定期航路の維持・拡大に向けたポートセールスや三池港背後圏企業への貿易知識の向上等の取り組みを進め、三池港を中心とした本市の物流機能を高めるとともに、三池港背後圏企業の競争力向上や新産業の創出、市内工業適地への企業立地の促進など更なる地域振興や地域経済の活性化を図ります。 |
| 担当部署         | 産業経済部三池港・みなと振興室   |
| 関係部署         | —   |

4. 平成27年度における成果指標及び達成状況等

|                 |   |
|-----------------|---|
| 成果指標            | 港湾貨物取扱量：350万t／年   |
| 成果指標<br>(H24変更) | 外貿コンテナ取扱量：20,000TEU／年   |
| 変更理由            | 港湾貨物取扱量は、公共ふ頭以外の企業専用のふ頭・棧橋等の取扱量を含む総取扱量であり、集荷拡大に向けた事業活動の直接的な影響を受けないために指標を変更しました。 |

(年度毎の達成状況)

| 年<br>指標       | 23年度            | 24年度      | 25年度      | 26年度      | 27年度      | 5年間の<br>達成状況 |
|---------------|-----------------|-----------|-----------|-----------|-----------|--------------|
| 港湾貨物取扱量       | 208万t           | —         | —         |           |           | —            |
| 外貿コンテナ<br>取扱量 | —<br>(15427TEU) | 18,837TEU | 16,990TEU | 15,614TEU | 14,504TEU | 14,504TEU    |

5. 重点施策に係る成果と評価

|                     |   |
|---------------------|---|
| 5年間の成果<br>(H23～H27) | <p>外貿コンテナ取扱貨物量は、船社・荷主に対するポートセールス、有明沿岸道路の三池港ICまでの延伸による物流機能の向上などにより、大川地区からの家具類の輸入貨物量が飛躍的に増加し、平成24年度は航路開設以来、過去最高の18,837TEUを記録しました。</p> <p>しかし、平成25年度以降は円安の影響もあり、家具類を中心に輸入貨物が大きく減少し、外貿コンテナ取扱量が減少しました。更に、三池港と上海港を結ぶ直行航路も円安の影響により、平成26年5月を持って運航休止となりました。</p> <p>このため、ポートセールスの更なる強化や新規荷主企業の掘り起こしを行い、取扱量の減少を最小限に食いどめることができました。</p> <p>円安による輸入貨物量の減少は、近隣港湾でも同様の傾向であり、総合的に判断し評価Ⅱとしています。</p> |
| 評価                  | Ⅱ   |

### 1. 大牟田市総合計画2006～2015後期基本計画の体系

|     |       |     |         |   |   |
|-----|-------|-----|---------|---|---|
| 1 編 | 産業の振興 | 4 章 | 観光・イベント | 節 | — |
|-----|-------|-----|---------|---|---|

### 2. 重点施策の名称

|     |                |
|-----|----------------|
| 施策名 | 大蛇山など各種イベントの充実 |
|-----|----------------|

### 3. 施策の目的と担当部署等

|              |   |
|--------------|---|
| 施策目的<br>(意図) | 本市の観光資源については、おおむた「大蛇山」まつりなど期間が限定されたものや、動物園など天候に左右されやすいものがほとんどであることから、年間を通じて観光客を誘致できるような観光資源が不足しています。そのため、既存の観光資源を磨き、付加価値をつけることによって知名度アップを図ります。また近隣市町との広域的な連携をはかり、効果的な情報発信を行うなどにより観光入込客数増加、消費額の増加に努め、本市の賑わい創出を図ります。<br>更に、おおむた「大蛇山」まつり他各種イベントの開催にあたっては、観光客等に安心して参加できる安全なイベントの実施を目指します。 |
| 担当部署         | 産業経済部商業観光課  |
| 関係部署         | —   |

### 4. 平成27年度における成果指標及び達成状況等

|      |                   |
|------|-------------------|
| 成果指標 | 観光入込客数：5%増（22年度比） |
|------|-------------------|

(年度毎の達成状況)

| 年<br>指標 | 23年度    | 24年度    | 25年度    | 26年度    | 27年度 | 5年間の<br>達成状況 |
|---------|---------|---------|---------|---------|------|--------------|
| 観光入込客数  | 2,276千人 | 2,144千人 | 2,117千人 | 1,996千人 |      | 1,996千人      |

※(参考)目標値：2,579千人 (基準値) H22年度：2,453千人  
(実績値) H27年度の実績値は、H29年度に入ってから県より公表予定

### 5. 重点施策に係る成果と評価

|                     |  |
|---------------------|--|
| 5年間の成果<br>(H23～H27) | 本市には、おおむた「大蛇山」まつりをはじめ、さまざまな伝統行事、年間約20万人の来園者で賑わう動物園など、一定の集客効果が見込める観光資源が存在していますが、期間が限定されているイベントや天候に左右されやすい観光資源も多いことから、天候が年間の観光入込客数などに大きな影響を与えています。<br>市内の観光入込客数は、微減で推移しており、成果指標の目標値に対する達成度は、平成26年度時点では77.4%となっており、評価Ⅲとしています。<br>平成27年度については、19年ぶりに大牟田市動物園の入園者数が21万人を超えるなど今後も引き続き、おおむた「大蛇山」まつりや世界文化遺産のほか、動物園、普光寺の臥龍梅など、集客が期待できる観光資源を、より一層活用していく必要があります。 |
| 評価                  | Ⅲ  |

1. 大牟田市総合計画2006～2015後期基本計画の体系

|     |       |     |       |     |     |
|-----|-------|-----|-------|-----|-----|
| 1 編 | 産業の振興 | 5 章 | 農林水産業 | 1 節 | 農林業 |
|-----|-------|-----|-------|-----|-----|

2. 重点施策の名称

|     |        |
|-----|--------|
| 施策名 | 担い手の育成 |
|-----|--------|

3. 施策の目的と担当部署等

|              |  |
|--------------|--|
| 施策目的<br>(意図) | 普及指導センター及びJAと連携して、地域の農業者で担う集落営農組織の体質強化・法人化、認定農業者及び新規就農者の育成・確保や規模拡大と生産性の高い農業経営を実現します。 |
| 担当部署         | 産業経済部農林水産課   |
| 関係部署         | —  |

4. 平成27年度における成果指標及び達成状況等

|      |                 |
|------|-----------------|
| 成果指標 | 生産組織の法人化：3組織／5年 |
|------|-----------------|

(年度毎の達成状況)

| 年<br>指標   | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 5年間の<br>達成状況 |
|-----------|------|------|------|------|------|--------------|
| 生産組織の法人化数 | 1    | 0    | 0    | 0    | 1    | 2            |

5. 重点施策に係る成果と評価

|                     |   |
|---------------------|---|
| 5年間の成果<br>(H23～H27) | <p>新規就農者の確保については、平成24年度から国の施策である青年就農給付金制度の効果が現れ、目標値6人に対し14人を確保することができました。</p> <p>生産組織の法人化については、将来、安定した農業経営を目指していくため2件の法人が設立しました。</p> <p>認定農業者については、高齢化により減少傾向が続いていますが、国の経営所得安定対策の交付金対象が認定農業者とされたことから、目標値5人に対し結果的に8人増となりました。</p> |
| 評価                  | II  |

1. 大牟田市総合計画2006～2015後期基本計画の体系

|     |       |     |       |     |     |
|-----|-------|-----|-------|-----|-----|
| 1 編 | 産業の振興 | 5 章 | 農林水産業 | 2 節 | 水産業 |
|-----|-------|-----|-------|-----|-----|

2. 重点施策の名称

|     |            |
|-----|------------|
| 施策名 | 水産業生産基盤の充実 |
|-----|------------|

3. 施策の目的と担当部署等

|              |  |
|--------------|--|
| 施策目的<br>(意図) | 水産業生産基盤の充実によるノリ養殖漁業の安定化や種苗放流による豊かな水産資源の確保により漁船漁業の生産性を向上させ、本市における水産業の振興を図ります。 |
| 担当部署         | 産業経済部農林水産課   |
| 関係部署         | —  |

4. 平成27年度における成果指標及び達成状況等

|      |                   |
|------|-------------------|
| 成果指標 | のり共同加工施設設置：2か所／5年 |
|------|-------------------|

(年度毎の達成状況)

| 年<br>指標        | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 5年間の<br>達成状況 |
|----------------|------|------|------|------|------|--------------|
| のり共同加工<br>施設設置 | 0か所  | 0か所  | 1か所  | 0か所  | 0か所  | 1か所          |

5. 重点施策に係る成果と評価

|                     |  |
|---------------------|--|
| 5年間の成果<br>(H23～H27) | <p>ノリ共同加工施設の整備は、5年間で2箇所の整備予定でしたが、実績は完成したものが1箇所、整備途中のものが1箇所でした。1箇所が未完となった理由は、平成27年度整備予定であったところ、国において予算が不足したため、平成27、28年度の2ヵ年にわたって実施することとなりました。</p> <p>そのため、平成27年度においては施設の設計を実施したところです。その後、平成28年度においてノリ共同加工施設の設置を図っております。</p> |
| 評価                  | II   |



1. 大牟田市総合計画2006～2015後期基本計画の体系

|     |         |     |      |   |   |
|-----|---------|-----|------|---|---|
| 2 編 | 都市基盤の整備 | 1 章 | 土地利用 | 節 | — |
|-----|---------|-----|------|---|---|

2. 重点施策の名称

|     |            |
|-----|------------|
| 施策名 | 低未利用地の有効活用 |
|-----|------------|

3. 施策の目的と担当部署等

|              |  |
|--------------|--|
| 施策目的<br>(意図) | 健康で文化的な生活環境の確保と市域の均衡ある発展を目指し、計画的な土地利用を推進します。 |
| 担当部署         | 都市整備部都市計画・公園課                                |
| 関係部署         | —  |

4. 平成27年度における成果指標及び達成状況等

|      |                       |
|------|-----------------------|
| 成果指標 | 低未利用地の割合：10%削減（22年度比） |
|------|-----------------------|

（年度毎の達成状況）

| 年<br>指標        | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度  | 27年度  | 5年間の<br>達成状況 |
|----------------|------|------|------|-------|-------|--------------|
| 低未利用地の<br>削減割合 | 1.2% | 4.4% | 8%   | 24.7% | 39.9% | 39.9%        |

5. 重点施策に係る成果と評価

|                     |  |
|---------------------|--|
| 5年間の成果<br>(H23～H27) | <p>全国的に人口減少と少子高齢化が進む中、本市においても、その傾向が顕在化し、空き地や空き家、空き店舗、工場跡地のほか、耕作放棄地などが拡大するなど、市内に低未利用地が広がっています。</p> <p>このような中、岬町地区では、都市計画制度（再開発等促進区）の活用や有明海沿岸道路の整備により、岬町地区の拠点性が高まり、民間活力による土地利用転換が進んでいます。</p> <p>さらには、平成24年7月1日にスタートした再生可能エネルギーの固定価格買取制度により、メガソーラー事業をはじめとする再生可能エネルギー発電事業における土地需要が増加し、市内の低未利用地の土地利用転換が進んでいます。</p> <p>このため、平成27年度末では、低未利用地の削減割合が成果目標を大きく上回りました。</p> |
| 評価                  | I  |

1. 大牟田市総合計画2006～2015後期基本計画の体系

|     |         |     |       |   |   |
|-----|---------|-----|-------|---|---|
| 2 編 | 都市基盤の整備 | 2 章 | 市街地整備 | 節 | — |
|-----|---------|-----|-------|---|---|

2. 重点施策の名称

|     |            |
|-----|------------|
| 施策名 | 中心市街地の環境整備 |
|-----|------------|

3. 施策の目的と担当部署等

|              |  |
|--------------|--|
| 施策目的<br>(意図) | 生活環境を整備し、街なか居住を進めると共に、生活利便施設の整備をすることで、定住人口と交流人口を増加させ、中心市街地の活性化を図ります。 |
| 担当部署         | 産業経済部商業観光課中心市街地活性化推進室  |
| 関係部署         | 都市整備部市街地整備課  |

4. 平成27年度における成果指標及び達成状況等

|      |                 |
|------|-----------------|
| 成果指標 | 定住人口増加数：200人／5年 |
|------|-----------------|

(年度毎の達成状況)

| 年<br>指標 | 23年度   | 24年度   | 25年度   | 26年度   | 27年度   | 5年間の<br>達成状況 |
|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------------|
| 定住人口増加数 | 6,410人 | 6,409人 | 6,393人 | 6,406人 | 6,299人 | 6,299人       |

※(参考) 目標値：6,578人 (基準値) H23.4.1：6,378人

5. 重点施策に係る成果と評価

|                     |   |
|---------------------|---|
| 5年間の成果<br>(H23～H27) | <p>中心市街地の定住人口は、平成23年度と27年度を比較して111人の減少となっていますが、本市全体の人口減少から見ると、民間による分譲マンションの整備が進んだことにより、微減の状態に留まっています。また、成果指標の達成状況は、平成27年度の目標値6,578人に対して実績値6,299人(達成率95.8%)となっています。</p> <p>一方、平成25年に整備された市民活動等多目的交流施設「えるる」は、市民活動の拠点として多くの市民に利用され、また、地元商店街と連携したイベント等も実施されており、一定の新たな賑わい創出が図られています。</p> <p>しかし、商店街の空き店舗率は約40%と依然高く、歩行者通行量も減少傾向が続いていることから、総合的に勘案し、Ⅲ評価としています。</p> |
| 評価                  | Ⅲ   |

1. 大牟田市総合計画2006～2015後期基本計画の体系

|     |         |     |    |   |   |
|-----|---------|-----|----|---|---|
| 2 編 | 都市基盤の整備 | 3 章 | 道路 | 節 | — |
|-----|---------|-----|----|---|---|

2. 重点施策の名称

|                 |            |
|-----------------|------------|
| 施策名             | 有明海沿岸道路の整備 |
| 施策名<br>(H24 変更) | 幹線道路の整備    |

3. 施策の目的と担当部署等

|              |  |
|--------------|--|
| 施策目的<br>(意図) | 幹線道路を整備することにより、市内の交通混雑が解消され、安全な通行が確保されるとともに、沿道環境の改善、市民の利便性向上につながります。 |
| 担当部署         | 都市整備部都市計画・公園課国県道路対策室   |
| 関係部署         | —  |

4. 平成27年度における成果指標及び達成状況等

|                  |  |
|------------------|--|
| 成果指標             | 平成23年度に三池港ICから大牟田IC間の供用開始と、三池港ICへのアクセス道路である新港町勝立線の同時供用             |
| 成果指標<br>(H24 変更) | 南関大牟田北線（岩本交差点～南関IC）の整備   |
| 変更理由             | 平成23年度に三池港ICから大牟田IC間の供用開始と、三池港ICへのアクセス道路である新港町勝立線が同時供用され、目標達成したため。 |

(年度毎の達成状況)

| 年<br>指標                       | 23年度     | 24年度    | 25年度   | 26年度    | 27年度    | 5年間の<br>達成状況 |
|-------------------------------|----------|---------|--------|---------|---------|--------------|
| 三池港IC～大牟田IC供用開始<br>新港町勝立線同時供用 | 23年度供用開始 | —       | —      | —       | —       | 23年度供用開始     |
| 南関大牟田北線整備                     |          | 交通量調査実施 | 整備手法検討 | 要望活動未実施 | 要望活動未実施 | 整備手法検討中      |

5. 重点施策に係る成果と評価

|                     |   |
|---------------------|---|
| 5年間の成果<br>(H23～H27) | <p>当初は、重点施策及び成果指標を「有明海沿岸道路の整備」と位置付け、整備促進に取り組んだ結果、平成23年度に供用開始されました。</p> <p>そのため、平成24年度より新たな重点施策「幹線道路の整備」として、成果指標を「南関大牟田北線の整備」と定め、整備促進に向け、交通量調査や整備手法の検討は行われましたが、整備手法の決定や要望活動については実施することができませんでした。引き続き、事業主体である福岡県と連携し、地元や関係機関との協議・調整に取り組み、円滑な事業促進を図ってまいります。</p> <p>このようなことから、計画期間の成果としては、当初指標の達成及び変更指標の一部達成を勘案し、Ⅲ評価としています。</p> |
| 評価                  | Ⅲ   |

1. 大牟田市総合計画2006～2015後期基本計画の体系

|     |         |     |          |   |   |
|-----|---------|-----|----------|---|---|
| 2 編 | 都市基盤の整備 | 4 章 | 交通ネットワーク | 節 | — |
|-----|---------|-----|----------|---|---|

2. 重点施策の名称

|     |        |
|-----|--------|
| 施策名 | 三池港の整備 |
|-----|--------|

3. 施策の目的と担当部署等

|              |  |
|--------------|--|
| 施策目的<br>(意図) | <p>港湾計画に基づく航路浚渫やコンテナ物流等に対応した港湾機能の充実を図るとともに、有明海沿岸道路等と連携した物流ネットワークを構築することにより、新規産業の創出や大牟田エコタウン・大牟田テクノパークに対する企業の立地促進を目指します。</p> <p>三池港の利用を促進するため、港周辺に点在する地域資源と一体的な利活用を図るとともに、港に緑地を整備し活用することで、市民に親しまれ、魅力ある交流の場としての空間を創出します。</p> |
| 担当部署         | 産業経済部三池港・みなと振興室  |
| 関係部署         | —  |

4. 平成27年度における成果指標及び達成状況等

|      |                                    |
|------|------------------------------------|
| 成果指標 | 港湾整備進捗率：内港航路浚渫94%、内港北防砂堤改良（1期）：54% |
|------|------------------------------------|

(年度毎の達成状況)

| 年<br>指標  | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 5年間の<br>達成状況 |
|----------|------|------|------|------|------|--------------|
| 内港航路浚渫   | 93%  | 90%  | 94%  | 96%  | 94%  | 94%          |
| 内港北防砂堤改良 | 60%  | 40%  | 54%  | 59%  | 64%  | 64%          |

※) 内港航路浚渫は、整備計画の拡大に伴う総事業費の増額により目標値を98%から94%に変更。内港北防砂堤改良は、損傷箇所拡大に伴う総事業費の増額により目標値を69%から54%に変更。実績値についても、同様に変更。

5. 重点施策に係る成果と評価

|                     |  |
|---------------------|--|
| 5年間の成果<br>(H23～H27) | <p>【国事業：内港航路浚渫整備事業】<br/>平成23年度に航路の拡幅・浚渫が完了。整備計画の拡大に伴い整備期間を延長して、北防砂堤及び南護岸の補強・耐震工事が進められています。<br/>なお、整備計画の拡大に伴い、平成24年度の達成率が前年度より減少し、平成27年度についても同様の理由で達成率が減少しています。</p> <p>【県事業：内港北防砂堤改良事業】<br/>当初の想定以上に北防砂堤（灯台から300メートルが事業箇所）の損傷が拡大しており、平成24年度に総事業費を増額し事業が進められています。<br/>なお、損傷箇所の拡大に伴い、平成24年度の達成率が前年度より減少しています。</p> <p>両指標とも目標値に対する達成率は100%となっていますが、当初の目標値を達成していないことから評価についてはⅡとしています。</p> |
| 評価                  | Ⅱ  |

# 1. 大牟田市総合計画2006～2015後期基本計画の体系

|     |         |     |        |   |   |
|-----|---------|-----|--------|---|---|
| 3 編 | 生活環境の整備 | 1 章 | 住宅・住環境 | 節 | — |
|-----|---------|-----|--------|---|---|

## 2. 重点施策の名称

|     |               |
|-----|---------------|
| 施策名 | 住宅セーフティネットの推進 |
|-----|---------------|

## 3. 施策の目的と担当部署等

|              |  |
|--------------|--|
| 施策目的<br>(意図) | 誰もが安心して入居できる民間住宅の供給促進のため、民間事業者との協働による重層的で柔軟な住宅セーフティネットづくりを目指します。<br>また市営住宅のバリアフリー化や耐震化等の性能向上のため、建替、改善を推進します。 |
| 担当部署         | 都市整備部建築住宅課   |
| 関係部署         | —  |

## 4. 平成27年度における成果指標及び達成状況等

|                 |  |
|-----------------|--|
| 成果指標            | 高齢者円滑入居賃貸住宅（高齢者の入居を拒まない賃貸住宅）登録戸数：195戸以上/3年   |
| 成果指標<br>(H24変更) | サービス付き高齢者向け住宅の登録戸数：260戸以上/5年   |
| 変更理由            | 平成23年10月に高齢者の居住の安定確保に関する法律（高齢者住まい法）の改正法が施行され、高齢者円滑入居賃貸住宅等の3施設が廃止されサービス付き高齢者向け住宅に一本化されたことや、登録戸数の大幅な増加に伴い住宅マスタープランに定めた目標整備戸数を前倒ししたため |

(年度毎の達成状況)

| 年<br>指標            | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 5年間の<br>達成状況 |
|--------------------|------|------|------|------|------|--------------|
| サービス付き高齢者向け住宅の登録戸数 | 14戸  | 157戸 | 76戸  | 50戸  | 0    | 297戸         |

## 5. 重点施策に係る成果と評価

|                     |   |
|---------------------|---|
| 5年間の成果<br>(H23～H27) | <p>住宅マスタープランの施策である「誰もが安心して入居できる民間賃貸住宅の供給促進」の実現のため、高齢者円滑入居賃貸住宅（高円賃）の登録を促進し、入居制限を受けやすい高齢者、障害者等が入居できる住宅の普及、拡大に努めてきたところです。</p> <p>サービス付き高齢者向け住宅の登録戸数は、平成27年度は0件ですが、平成24年度、25年度にサービス付き高齢者向け住宅の普及促進を目的として実施したセミナーやシンポジウム等の効果に加え、国による補助金や税の優遇、融資などの支援措置が設けられたことも影響し、5か年の目標を大きく上回っています。</p> <p>しかしながら、サービスの質等の向上は課題であることから、平成28年3月に事業者による「大牟田市サービス付き高齢者向け住宅連絡協議会」を設立し、情報交換や勉強会等を実施することで、サービスの質等の向上ができるよう連絡会運営の支援を行っています。</p> <p>また、市営住宅の建替えや改善については、計画的な改修等を行い、適正な管理を進めていきます。</p> |
| 評価                  | I   |

1. 大牟田市総合計画2006～2015後期基本計画の体系

|     |         |     |       |   |   |
|-----|---------|-----|-------|---|---|
| 3 編 | 生活環境の整備 | 2 章 | 公園・緑地 | 節 | — |
|-----|---------|-----|-------|---|---|

2. 重点施策の名称

|     |       |
|-----|-------|
| 施策名 | 緑化の推進 |
|-----|-------|

3. 施策の目的と担当部署等

|              |   |
|--------------|---|
| 施策目的<br>(意図) | 「大牟田市緑の基本計画」に掲げる緑の将来像を実現するために、市民・企業・行政が協働で緑豊かな潤いある都市環境の創出を図ります。 |
| 担当部署         | 都市整備部都市計画・公園課   |
| 関係部署         | —   |

4. 平成27年度における成果指標及び達成状況等

|      |                                       |
|------|---------------------------------------|
| 成果指標 | みどりの教室への参加者のうち、緑への関心が深まったと感じる割合：80%以上 |
|------|---------------------------------------|

(年度毎の達成状況)

| 年<br>指標          | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 5年間の<br>達成状況 |
|------------------|------|------|------|------|------|--------------|
| 緑への関心が深まったと感じる割合 | 80%  | 76%  | 79%  | 80%  | 94%  | 94%          |

5. 重点施策に係る成果と評価

|                     |  |
|---------------------|--|
| 5年間の成果<br>(H23～H27) | <p>平成23年度から平成27年度までの5年間で、延べ人数2,477人の小学生にみどりの教室を実施しました。</p> <p>実施後、受講した学校にアンケートの記入をしてもらい、緑への関心が深まったと感じる割合を確認しています。</p> <p>この割合が80%以上に達成していない年度もありますが、5年間の平均として見たときも約81.8%となっており、成果指標を満たしています。</p> |
| 評価                  | I  |

1. 大牟田市総合計画2006～2015後期基本計画の体系

|     |         |     |     |   |   |
|-----|---------|-----|-----|---|---|
| 3 編 | 生活環境の整備 | 3 章 | 上水道 | 節 | — |
|-----|---------|-----|-----|---|---|

2. 重点施策の名称

|     |             |
|-----|-------------|
| 施策名 | 安全で安定した水の供給 |
|-----|-------------|

3. 施策の目的と担当部署等

|              |   |
|--------------|---|
| 施策目的<br>(意図) | 水道施設の計画的な更新により、にごり水や管破損事故の抑制や原水の水質状況等の確認による水質の確保を行い、合わせて社水から市水への切り替えを行う水道一元化を推進することで、水道サービスの不均衡を解消し、市民に対し安全で安定的に水道水の供給を行い、生活環境の改善を図ります。 |
| 担当部署         | 企業局上水道建設課   |
| 関係部署         | 企業局一元化推進室、水質管理課   |

4. 平成27年度における成果指標及び達成状況等

|      |                    |
|------|--------------------|
| 成果指標 | 老朽管の更新延長：33.0% (※) |
|------|--------------------|

(年度毎の達成状況)

| 年<br>指標      | 23年度  | 24年度  | 25年度  | 26年度  | 27年度  | 5年間の<br>達成状況 |
|--------------|-------|-------|-------|-------|-------|--------------|
| 老朽管の<br>更新延長 | 19.1% | 24.5% | 29.5% | 32.1% | 33.1% | 33.1%        |

(※) 水道一元化事業実施に伴う事業計画の見直しにより、27年度目標値を36.3%から33.0%へ変更しました。

5. 重点施策に係る成果と評価

|                     |  |
|---------------------|--|
| 5年間の成果<br>(H23～H27) | 老朽管の更新及び水道一元化に伴う共同給水装置の付替えについては、積極的に国の補助制度を活用し、下水道事業等の他事業と連携を図り、計画的かつ効率的に実施しました。<br>この結果、出水不良やにごり水の解消、配水管の破損事故が減少し、安全で安定的な水道水の供給が図られました。 |
| 評価                  | I  |

1. 大牟田市総合計画2006～2015後期基本計画の体系

|     |         |     |     |   |   |
|-----|---------|-----|-----|---|---|
| 3 編 | 生活環境の整備 | 4 章 | 下水道 | 節 | — |
|-----|---------|-----|-----|---|---|

2. 重点施策の名称

|     |                 |
|-----|-----------------|
| 施策名 | 生活排水対策及び浸水対策の推進 |
|-----|-----------------|

3. 施策の目的と担当部署等

|              |   |
|--------------|---|
| 施策目的<br>(意図) | <p>良好な水環境、快適で衛生的な生活を確保するため、公共下水道の整備を進めます。</p> <p>また、安定した水処理を行うため、老朽化した下水道施設について、長寿命化計画に基づき、計画的に改築や更新を行い、機能の保全と延命化を図ります。</p> |
| 担当部署         | 企業局下水道建設課   |
| 関係部署         | 企業局施設課、水質管理課  |

4. 平成27年度における成果指標及び達成状況等

|      |              |
|------|--------------|
| 成果指標 | 下水道普及率：54%以上 |
|------|--------------|

(年度毎の達成状況)

| 年<br>指標 | 23年度  | 24年度  | 25年度  | 26年度  | 27年度  | 5年間の<br>達成状況 |
|---------|-------|-------|-------|-------|-------|--------------|
| 下水道普及率  | 47.1% | 49.7% | 51.8% | 54.7% | 57.6% | 57.6%        |

5. 重点施策に係る成果と評価

|                     |  |
|---------------------|--|
| 5年間の成果<br>(H23～H27) | <p>污水管渠整備事業を計画的かつ効率的に行ったことから、目標を上回る下水道普及率の向上が図られ、良好な水環境と、快適で衛生的な市民生活の確保に貢献することができました。</p> <p>一方、長寿命化対策事業として実施したポンプ場の改築工事については、順調に進捗し、下水道施設の機能の保全と延命化が図られましたが、管路改築工事については、入札不調により進捗（目標達成度：59%）に影響が出たことから、評価はⅡ（80%～99%）となりました。</p> |
| 評価                  | Ⅱ  |



1. 大牟田市総合計画2006～2015後期基本計画の体系

|     |         |     |    |   |   |
|-----|---------|-----|----|---|---|
| 3 編 | 生活環境の整備 | 5 章 | 河川 | 節 | — |
|-----|---------|-----|----|---|---|

2. 重点施策の名称

|     |         |
|-----|---------|
| 施策名 | 浸水対策の推進 |
|-----|---------|

3. 施策の目的と担当部署等

|              |   |
|--------------|---|
| 施策目的<br>(意図) | 流下能力が不足する河川において、河道拡幅や橋梁・堰等の改良を行い、流域住民の生命・財産を洪水被害から守り、安全で快適なまちづくりを実現します。 |
| 担当部署         | 都市整備部土木建設課  |
| 関係部署         | —   |

4. 平成27年度における成果指標及び達成状況等

|              |   |
|--------------|---|
| 成果指標         | (手鎌野間川河川改修事業) 浸水緩和：25.2ha/5年                            |
| 成果指標<br>(変更) | (手鎌南川河川改修事業) 用地取得：100% (平成27年度)                         |
| 変更理由         | 手鎌野間川河川改修事業は平成26年度に計画区間が事業完了し、平成27年度より手鎌南川河川改修事業に着手したため |

(年度毎の達成状況)

| 年<br>指標 | 23年度  | 24年度   | 25年度   | 26年度   | 27年度 | 5年間の<br>達成状況 |
|---------|-------|--------|--------|--------|------|--------------|
| 浸水緩和    | 2.4ha | 10.3ha | 14.5ha | 25.2ha | —    | 25.2ha       |
| 用地取得    |       |        |        |        | 100% | 100%         |

5. 重点施策に係る成果と評価

|                     |  |
|---------------------|--|
| 5年間の成果<br>(H23～H27) | <p>(手鎌野間川)<br/>大雨時に浸水被害が著しかった草木地区の安全を高めるため、手鎌野間川の護岸改修を行い、25.2haの浸水緩和が図られました。合わせて、公園・緑道や周辺水路の整備を行い、生活環境が向上しました。</p> <p>(手鎌南川)<br/>浸水解消を図るための河川や調整池の施設用地取得には、地元関係者の理解と協力が欠かせないため、説明会等による合意形成を図り、平成27年度に全ての用地取得を完了しました。また、今後は平成32年度の事業完了を目指し整備を推進します。</p> |
| 評価                  | I  |

1. 大牟田市総合計画2006～2015後期基本計画の体系

|     |         |     |    |     |      |
|-----|---------|-----|----|-----|------|
| 3 編 | 生活環境の整備 | 6 章 | 環境 | 1 節 | 環境保全 |
|-----|---------|-----|----|-----|------|

2. 重点施策の名称

|     |          |
|-----|----------|
| 施策名 | 温暖化対策の推進 |
|-----|----------|

3. 施策の目的と担当部署等

|              |  |
|--------------|--|
| 施策目的<br>(意図) | 市民や事業者などのエコ行動を促進することにより、二酸化炭素などの温室効果ガスが削減される状態になる事を狙います。 |
| 担当部署         | 環境部環境企画課   |
| 関係部署         | —  |

4. 平成27年度における成果指標及び達成状況等

|      |                     |
|------|---------------------|
| 成果指標 | 市民の「エコ行動」の実施率：80%以上 |
|------|---------------------|

(年度毎の達成状況)

| 年<br>指標        | 23年度  | 24年度  | 25年度  | 26年度  | 27年度  | 5年間の<br>達成状況 |
|----------------|-------|-------|-------|-------|-------|--------------|
| 「エコ行動」<br>の実施率 | 71.6% | 67.4% | 68.3% | 68.5% | 62.0% | 62.0%        |

5. 重点施策に係る成果と評価

|                     |   |
|---------------------|---|
| 5年間の成果<br>(H23～H27) | <p>市民の「エコ行動」の目標値80%の達成を目指して、街頭啓発や環境イベントなどを定例化することでノウハウの蓄積も進み、県や近隣市、各種団体との連携事例も増加してきました。</p> <p>一方で、住宅用太陽光発電設備設置基数(2,866基)の実績がほぼ目標どおりとなったにもかかわらず、それに連動して市民の環境意識が高まり、さらに市民の「エコ行動」の実施率も高まるという結果には繋がりませんでした。</p> <p>しかし、住宅用太陽光発電設備等の設置が進んだことにより、住民が日常の中で、意識せず自然に環境への配慮ができるという状況が生まれてきています。</p> <p>5年間の成果として、市民のエコ行動実施率は、目標80.0%に対し実績値62.0%で達成度77.5%となり、また、事業者のエコ行動実施率は、目標85.0%に対し実績値73.3%で達成度86.2%となりました。市民及び事業者のエコ行動実施率の達成度を平均すると、81.9%です。このようなことから総合的に勘案し、評価Ⅱとしました。</p> <p>今後は、引き続き、市民のエコ行動に関する意識啓発を図るとともに、事業者の「エコ行動」についてもセミナーの実施や各種の情報提供に努めてまいります。</p> |
| 評価                  | Ⅱ   |

1. 大牟田市総合計画2006～2015後期基本計画の体系

|     |         |     |    |     |      |
|-----|---------|-----|----|-----|------|
| 3 編 | 生活環境の整備 | 6 章 | 環境 | 2 節 | 環境衛生 |
|-----|---------|-----|----|-----|------|

2. 重点施策の名称

|     |           |
|-----|-----------|
| 施策名 | 食品衛生対策の推進 |
|-----|-----------|

3. 施策の目的と担当部署等

|              |   |
|--------------|---|
| 施策目的<br>(意図) | 市民が安心して安全な食生活を送ることができるように、「大牟田市食品衛生監視指導計画」に基づき、食品取扱施設に対し監視指導を行うとともに、食品取扱者や市民に対し、食品衛生に関する情報提供を行い、自主衛生管理の推進や知識の普及を図ります。 |
| 担当部署         | 保健福祉部生活衛生課  |
| 関係部署         | —   |

4. 平成27年度における成果指標及び達成状況等

|      |              |
|------|--------------|
| 成果指標 | 食中毒発生件数：0件/年 |
|------|--------------|

(年度毎の達成状況)

| 年<br>指標 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 5年間の<br>達成状況 |
|---------|------|------|------|------|------|--------------|
| 食中毒発生件数 | 0件   | 1件   | 0件   | 0件   | 1件   | 2件           |

5. 重点施策に係る成果と評価

|                     |   |
|---------------------|---|
| 5年間の成果<br>(H23～H27) | <p>職員の専門職化を行い食品衛生監視員の増員をすることで監視体制の充実を図り、年度毎の大牟田市監視指導計画に沿った監視指導を行いながら食中毒予防に努めましたが、結果としては、5年間で2件の食中毒が発生しました。今後も、全国的な発生状況等を考慮しながらより効率的な監視指導に努め、発生件数ゼロを目指していきたいと考えています。</p> <p>検査体制については、食中毒の主要な原因物質であるノロウイルス検査に必要なPCR検査機器を整備し、より迅速な食中毒の原因究明及び拡大、再発防止対策を図ることができるようになりました。</p> |
| 評価                  | II  |

### 1. 大牟田市総合計画2006～2015後期基本計画の体系

|     |         |     |    |     |     |
|-----|---------|-----|----|-----|-----|
| 3 編 | 生活環境の整備 | 6 章 | 環境 | 3 節 | 廃棄物 |
|-----|---------|-----|----|-----|-----|

### 2. 重点施策の名称

|     |                      |
|-----|----------------------|
| 施策名 | 一般廃棄物（ごみ）の減量化・資源化の推進 |
|-----|----------------------|

### 3. 施策の目的と担当部署等

|              |  |
|--------------|--|
| 施策目的<br>(意図) | リデュース（発生抑制）・リユース（再使用）・リサイクル（再生利用）といういわゆる3Rを基本としたライフスタイル・ビジネススタイルの促進を図り、また、消費者（市民等）・事業者・行政の役割分担によって、廃棄物の発生を抑制し、廃棄物となったものについて不適正処理の防止その他の環境への負荷の低減に配慮しつつ、再利用、再生利用、熱回収の順に可能な限り循環的な利用を行い、なお、処分が必要なものについて適正な処分を行う循環型社会の構築を図ります。 |
| 担当部署         | 環境部環境業務課   |
| 関係部署         | —  |

### 4. 平成27年度における成果指標及び達成状況等

|      |                   |
|------|-------------------|
| 成果指標 | ごみ総排出量：41,500トン/年 |
|------|-------------------|

(年度毎の達成状況)

| 年<br>指標 | 23年度   | 24年度   | 25年度   | 26年度   | 27年度   | 5年間の<br>達成状況 |
|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------------|
| ごみ排出量   | 43,235 | 41,061 | 40,950 | 40,469 | 39,854 | 39,854       |

### 5. 重点施策に係る成果と評価

|                     |   |
|---------------------|---|
| 5年間の成果<br>(H23～H27) | <p>「広報おおむた」の他、ごみ出し読本（ごみ出し用ルールブック）改訂版を転入者等へ配布し、市民啓発を行いました。また、種々の機会を通じて地域に積極的に働きかけ、要請があった集会や出前講座は全て対応しました。</p> <p>一方、ルール違反ごみ等へは、収集時に直接指導を行うとともに、不在世帯については、「環境部からのお知らせ（分別徹底等啓發文書）」の配付や別途指導員による現地指導を行いました。</p> <p>ごみの排出量は人口の減少等もあり減少しています。一人当たり排出量も減少傾向にあることから、市民等における減量意識も定着しているものと考えます。</p> <p>また、資源物の排出量も減少していますが、人口の減少や民間事業者の回収等による減少が見込まれる中で、1人当たりの排出量は横ばいとなっていることから資源化量は増えていると考えられ、排出指導及び啓発の効果が現れていると思われます。</p> |
| 評価                  | I   |

1. 大牟田市総合計画2006～2015後期基本計画の体系

|     |         |     |       |     |    |
|-----|---------|-----|-------|-----|----|
| 3 編 | 生活環境の整備 | 7 章 | 安心・安全 | 1 節 | 消防 |
|-----|---------|-----|-------|-----|----|

2. 重点施策の名称

|     |           |
|-----|-----------|
| 施策名 | 火災予防行政の充実 |
|-----|-----------|

3. 施策の目的と担当部署等

|              |  |
|--------------|--|
| 施策目的<br>(意図) | 小規模多機能施設等福祉施設の安全の確保、危険物事故の防止、違反是正による火災発生の防止、更には各種団体に対し防火意識の高揚を図り、事業所での災害の防止はもとより地域の安心・安全を確立することを目的とします。また、防火対象物をはじめ、一般住宅の防火対策も併せて実施していきます。 |
| 担当部署         | 消防本部予防課  |
| 関係部署         | —  |

4. 平成27年度における成果指標及び達成状況等

|      |            |
|------|------------|
| 成果指標 | 違反是正率：100% |
|------|------------|

(年度毎の達成状況)

| 年<br>指標 | 23年度  | 24年度  | 25年度  | 26年度  | 27年度  | 5年間の<br>達成状況 |
|---------|-------|-------|-------|-------|-------|--------------|
| 違反是正率   | 70.0% | 73.7% | 75.5% | 77.3% | 78.0% | 78.0%        |

5. 重点施策に係る成果と評価

|                     |   |
|---------------------|---|
| 5年間の成果<br>(H23～H27) | 全体的に成果指標の目標に達せず伸び率は低いものとなっています。違反是正では、消防用設備等の設置に係る費用負担が課題ではありましたが、福祉施設等をはじめ一定程度の成果は上がっています。住宅用火災警報器の設置については、今後も引き続き普及啓発に力を入れていく必要があります。 |
| 評価                  | Ⅲ   |

### 1. 大牟田市総合計画2006～2015後期基本計画の体系

|     |         |     |       |     |    |
|-----|---------|-----|-------|-----|----|
| 3 編 | 生活環境の整備 | 7 章 | 安心・安全 | 2 節 | 防災 |
|-----|---------|-----|-------|-----|----|

### 2. 重点施策の名称

|     |         |
|-----|---------|
| 施策名 | 防災対策の推進 |
|-----|---------|

### 3. 施策の目的と担当部署等

|              |  |
|--------------|--|
| 施策目的<br>(意図) | 災害時においては、自助・共助・公助の連携が必要です。<br>公助を担う防災機関は、訓練等を通じた自らの対応力の向上や関係機関との連携強化を図ります。<br>また、自助・共助を担う地域等における災害に対する啓発や意識の向上、自主防災組織による取り組みの強化や市民や地域に対する情報伝達手段の整備を図り、災害に強いまちを目指します。 |
| 担当部署         | 都市整備部防災対策室   |
| 関係部署         |  |

### 4. 平成27年度における成果指標及び達成状況等

|      |                                |
|------|--------------------------------|
| 成果指標 | 自主防災組織（安心安全まちづくり推進組織）の設立：全小学校区 |
|------|--------------------------------|

(年度毎の達成状況)

| 年<br>指標       | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 5年間の<br>達成状況 |
|---------------|------|------|------|------|------|--------------|
| 自主防災組織の<br>設立 | 14校区 | 16校区 | 20校区 | 21校区 | 21校区 | 21校区         |

※(参考) 目標値：21校区（当初目標値に誤りがあったため修正）

(基準値) H22年度：12校区

### 5. 重点施策に係る成果と評価

|                     |  |
|---------------------|--|
| 5年間の成果<br>(H23～H27) | 東日本大震災以降、市民の防災・減災に対する意識の高まりもあり、自主防災組織については、平成26年度に全校区において設立され、その運営支援を継続的に行うとともに、毎年度、各校区における防災訓練・研修会の支援を行いました。<br>また、平成25年度に大牟田市地域防災計画を抜本的に見直し、戸別受信機の配備、市備蓄基本方針に基づく計画的な備蓄、民間事業所等との災害時応援協定の締結、要配慮者支援対策などの各種防災対策を行いました。 |
| 評価                  | I  |

1. 大牟田市総合計画2006～2015後期基本計画の体系

|     |         |     |       |     |    |
|-----|---------|-----|-------|-----|----|
| 3 編 | 生活環境の整備 | 7 章 | 安心・安全 | 3 節 | 防犯 |
|-----|---------|-----|-------|-----|----|

2. 重点施策の名称

|     |         |
|-----|---------|
| 施策名 | 防犯活動の充実 |
|-----|---------|

3. 施策の目的と担当部署等

|              |   |
|--------------|---|
| 施策目的<br>(意図) | 家庭・地域・関係機関等が一体となった地域の安全活動の基盤となる防犯体制の確立を図り、地域防犯活動を促進し、安全で住みよい地域社会を実現します。 |
| 担当部署         | 市民協働部市民協働総務課生活安全推進室   |
| 関係部署         | —   |

4. 平成27年度における成果指標及び達成状況等

|      |  |
|------|--|
| 成果指標 | 市内の刑法犯認知件数（警察において発生を認知した事件数）：年1%ずつ削減（22年比） |
|------|--|

（年度毎の達成状況）

| 年<br>指標     | 23年度   | 24年度   | 25年度   | 26年度   | 27年度   | 5年間の<br>達成状況 |
|-------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------------|
| 刑法犯<br>認知件数 | 1,301件 | 1,322件 | 1,500件 | 1,208件 | 1,248件 | 1,248件       |

※（参考）目標値：1,474人（基準値）H22年：1,519人

5. 重点施策に係る成果と評価

|                     |  |
|---------------------|--|
| 5年間の成果<br>(H23～H27) | 犯罪のない、明るく住みよい地域社会を実現するために、警察、行政、地域住民及び事業者との連携のもとに、防犯組織の育成や地域組織への支援等を行いました。また、関係部署と連携し、各種事業において分かりやすくPR効果のあるチラシ等を作成・配布し、様々な場を活用し、愛情ねっとやついで隊の加入PRを強化することにより、愛情ねっとやついで隊の登録増加を図りました。 |
| 評価                  | II   |

1. 大牟田市総合計画2006～2015後期基本計画の体系

|     |         |     |       |     |      |
|-----|---------|-----|-------|-----|------|
| 3 編 | 生活環境の整備 | 7 章 | 安心・安全 | 4 節 | 交通安全 |
|-----|---------|-----|-------|-----|------|

2. 重点施策の名称

|     |           |
|-----|-----------|
| 施策名 | 交通安全対策の推進 |
|-----|-----------|

3. 施策の目的と担当部署等

|              |  |
|--------------|--|
| 施策目的<br>(意図) | 交通事故を未然に防ぐことを目的とした交通安全施設の整備を行い、より安全で快適な道路環境を確保します。 |
| 担当部署         | 都市整備部土木建設課   |
| 関係部署         | —  |

4. 平成27年度における成果指標及び達成状況等

|      |                             |
|------|-----------------------------|
| 成果指標 | 交通安全施設に対する市民の満足度の向上：10%増／5年 |
|------|-----------------------------|

(年度毎の達成状況)

| 年<br>指標 | 23年度  | 24年度  | 25年度  | 26年度  | 27年度  | 5年間の<br>達成状況 |
|---------|-------|-------|-------|-------|-------|--------------|
| 市民満足度   | 52.0% | 54.3% | 50.0% | 54.0% | 57.0% | 57.0%        |

※(参考) 目標値：71.3% (基準値) H22年度：61.3%

5. 重点施策に係る成果と評価

|                     |   |
|---------------------|---|
| 5年間の成果<br>(H23～H27) | <p>交通安全施設整備事業は、地域や警察等と連携しながら、市内の危険箇所について交通安全施設の整備を行い、市民の交通安全を図っています。</p> <p>これまでの5年間では、カーブミラー247基、防護柵2,721m、区画線60,863m、カラー舗装15,742mの他、視線誘導標や「ゾーン30」の路面表示等の整備を行いました。</p> <p>成果として、満足度の着実な向上には結びついておりませんが、市内における交通事故件数が、平成22年の1,042件から平成27年の722件へと31%減少しており、これらの施設整備により一定の効果が表れているものと考えております。</p> |
| 評価                  | Ⅲ   |



### 1. 大牟田市総合計画2006～2015後期基本計画の体系

|     |         |     |       |     |      |
|-----|---------|-----|-------|-----|------|
| 3 編 | 生活環境の整備 | 7 章 | 安心・安全 | 5 節 | 消費生活 |
|-----|---------|-----|-------|-----|------|

### 2. 重点施策の名称

|     |          |
|-----|----------|
| 施策名 | 消費者行政の推進 |
|-----|----------|

### 3. 施策の目的と担当部署等

|              |   |
|--------------|---|
| 施策目的<br>(意図) | 専門的な知識を持つ相談員を配置し、消費生活にかかる相談対応及び苦情処理のための斡旋を行うことにより、消費者トラブルの解決を支援し、被害の回復に寄与します。また、広報紙等での啓発を行うことで、市民が消費生活に関する知識を深めるとともに、消費にかかる市の専門の相談窓口を認知し、被害を未然に防止することができます。 |
| 担当部署         | 市民部市民生活課  |
| 関係部署         | —   |

### 4. 平成27年度における成果指標及び達成状況等

|      |                  |
|------|------------------|
| 成果指標 | 消費生活相談窓口の認知度：60% |
|------|------------------|

(年度毎の達成状況)

| 年<br>指標          | 23年度  | 24年度  | 25年度  | 26年度  | 27年度  | 5年間の<br>達成状況 |
|------------------|-------|-------|-------|-------|-------|--------------|
| 消費生活相談<br>窓口の認知度 | 52.7% | 57.3% | 53.2% | 58.1% | 57.3% | 57.3%        |

### 5. 重点施策に係る成果と評価

|                     |  |
|---------------------|--|
| 5年間の成果<br>(H23～H27) | <p>消費者行政の推進は、「消費者意識の啓発」と「消費生活相談事業」の二つを柱として取り組みました。</p> <p>「消費者意識の啓発」では、出前講座や消費者講座を実施しました。消費生活相談窓口の電話番号を記載したうちわや悪質商法撃退カレンダーなど啓発用品を活用し、消費生活相談窓口のPRも継続して行いました。また、警察や県と連携し、銀行等で街頭啓発も行いました。消費生活相談窓口の認知度は目標達成には至らなかったものの、出前講座の依頼は、平成25年度の45件をピークに毎年20件前後の依頼を受け、小・中・高校や障害者団体からの依頼もあるなど、高齢者だけではなく、若年層、障害者の意識も高まってきました。</p> <p>「消費生活相談事業」では、消費生活に関する苦情や相談に対応し、被害の回復や問題解決への支援を行いました。相談内容については年々複雑・多様化しており、新たな消費者問題に対応するため県交付金を活用し、相談員の研修参加を支援しました。さらに、市内の多重債務連絡会議の運営や、高齢者・障害者権利擁護連絡会議において情報交換を行うなど、関係機関との連携も図りました。</p> |
| 評価                  | Ⅱ  |

### 1. 大牟田市総合計画2006～2015後期基本計画の体系

|     |          |     |      |   |   |
|-----|----------|-----|------|---|---|
| 4 編 | 健康・福祉の向上 | 1 章 | 地域福祉 | 節 | — |
|-----|----------|-----|------|---|---|

### 2. 重点施策の名称

|     |         |
|-----|---------|
| 施策名 | 地域福祉の推進 |
|-----|---------|

### 3. 施策の目的と担当部署等

|              |   |
|--------------|---|
| 施策目的<br>(意図) | <p>支え合いが十分に機能するためには、住民それぞれが地域における支え合いの必要性を認識し、子どもや高齢者まで、誰もが福祉の受け手であるとともに地域福祉の担い手になるという意識を持って、できることから活動へ参加することが重要です。</p> <p>また、地域福祉に関係する個人・団体の活動を活発化することは、地域福祉の向上に大きく貢献します。そのため、行政と民生委員・児童委員をはじめ各機関・団体との連絡や協議を密にし、地域福祉活動が活発に行われるように連携・支援する必要があります。</p> |
| 担当部署         | 保健福祉部保健福祉総務課地域福祉推進室   |
| 関係部署         | —   |

### 4. 平成27年度における成果指標及び達成状況等

|      |                                    |
|------|------------------------------------|
| 成果指標 | 「ご近所支え合いネット」の登録者のうち、支援者がいる人の割合：52% |
|------|------------------------------------|

(年度毎の達成状況)

| 年<br>指標        | 23年度  | 24年度  | 25年度  | 26年度  | 27年度  | 5年間の<br>達成状況 |
|----------------|-------|-------|-------|-------|-------|--------------|
| 支援者がいる<br>人の割合 | 40.2% | 39.6% | 39.5% | 38.9% | 38.7% | 38.7%        |

(※) 27年度目標値は、第2次大牟田市地域福祉計画のH26年度末目標値50%をもとに設定。

### 5. 重点施策に係る成果と評価

|                     |  |
|---------------------|--|
| 5年間の成果<br>(H23～H27) | <p>平成22年度に社会福祉協議会による住民参加型福祉サービス「おおむたキャロットサービス」が開始され、サービスの担い手である協力会員が各地域において生活支援サービスを実施するなど、生活課題を解決する土壌が育っています。</p> <p>成果指標については目標値を下回っていますが、各地域において、ふれあいサロン活動の設置数が増えており、防災訓練などの地域活動も活発化していることから、住民同士がつながる場や機会が多くつくられています。なお、第3次大牟田市地域福祉計画において重点課題として「災害時における要配慮者に対する支援」を掲げ、取組みを進めることとしています。</p> <p>さらに、高齢者等に対する支援の充実とそれを支える社会基盤をつくるため、平成27年度より生活困窮者自立支援制度に基づく各事業の実施や地域ケア会議への参画を通し、専門機関や地域住民とともに個別ケースへの支援策の検討を行うことができました。</p> |
| 評価                  | Ⅲ  |

## 1. 大牟田市総合計画2006～2015後期基本計画の体系

|     |          |     |          |   |   |
|-----|----------|-----|----------|---|---|
| 4 編 | 健康・福祉の向上 | 2 章 | 高齢社会への対応 | 節 | — |
|-----|----------|-----|----------|---|---|

## 2. 重点施策の名称

|     |           |
|-----|-----------|
| 施策名 | 地域包括ケアの推進 |
|-----|-----------|

## 3. 施策の目的と担当部署等

|              |  |
|--------------|--|
| 施策目的<br>(意図) | 高齢者が住み慣れた地域で、その人らしく暮らし続けることができるよう、介護、医療、予防、生活支援、住まい等の支援が、高齢者のニーズや状態の変化に応じて切れ目なく提供されるまちづくりを進めます。また、医療、介護等の公的なサービスだけでなく、地域住民の支援など地域の様々な社会資源が連携し、高齢者やその家族を支えます。認知症コーディネーターやもの忘れ相談医など専門職によるきめ細かな支援により、認知症の人本人や家族が孤立せず、安心して生活できるまちづくりを進めるとともに、認知症に対する正しい理解を地域に広めることにより、早期発見・対応や地域見守り体制の構築を進めます。 |
| 担当部署         | 保健福祉部長寿社会推進課   |
| 関係部署         | —  |

## 4. 平成27年度における成果指標及び達成状況等

|      |   |
|------|---|
| 成果指標 | 認知症SOSネットワーク模擬訓練等の地域活動の支援を行う交流施設数：37か所／5年 |
|------|---|

(※) 平成27年度から名称を「徘徊模擬訓練」から「認知症SOSネットワーク模擬訓練」に変更しました。

(年度毎の達成状況)

| 指標              | 年 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 5年間の達成状況 |
|-----------------|---|------|------|------|------|------|----------|
| 地域活動支援<br>交流施設数 |   | 38か所 | 40か所 | 39か所 | 40か所 | 45か所 | 45か所     |

(※) 平成23年度において目標達成したことから、平成25年度に目標を上方修正（37箇所→41箇所）しました。

## 5. 重点施策に係る成果と評価

|                     |  |
|---------------------|--|
| 5年間の成果<br>(H23～H27) | <p>高齢者保健福祉計画・第4期介護保険事業計画期間に介護給付費が急激に伸びたことから、平成24年度からの第5期計画では保険料を約41%増とせざるをえませんでした。そこで、給付費の増加を少しでも抑えるため、介護予防ケアマネジメントの観点による介護予防や地域健康づくりに取り組みました。</p> <p>また、地域包括ケアシステムの構築に向け、地域との連携や総合相談を強化するため、平成24年10月から地域包括支援センターを6箇所体制とし、権利擁護の観点から平成26年4月に社会福祉協議会に成年後見センターを開設しました。平成27年10月からは、高齢者の生活支援・介護予防の基盤整備を図る観点から、地域包括支援センターに生活支援コーディネーターを配置しました。</p> <p>在宅医療の推進、医療と介護の連携については、大牟田医師会と連携しながら市民向けの啓発や専門職向けの研修会の開催などに平成25年度より取り組んでいます。</p> <p>認知症に関する取り組みでは、認知症コーディネーター養成研修などの人材育成、早期発見・支援のための認知症サポートチームによる取り組み、理解啓発のための小中学校への絵本教室の実施、地域づくりのための認知症SOSネットワーク模擬訓練の実施など、認知症の人とともに暮らす地域づくりを進めました。</p> |
| 評価                  | I  |

1. 大牟田市総合計画2006～2015後期基本計画の体系

|     |          |     |       |   |
|-----|----------|-----|-------|---|
| 4 編 | 健康・福祉の向上 | 3 章 | 次世代育成 | 節 |
|-----|----------|-----|-------|---|

2. 重点施策の名称

|     |                |
|-----|----------------|
| 施策名 | 地域における多様な子育て支援 |
|-----|----------------|

3. 施策の目的と担当部署等

|              |  |
|--------------|--|
| 施策目的<br>(意図) | きめ細かく柔軟な保育サービス等の充実を図り、子育ての不安感・負担感の軽減とともに、就労形態等の多様化等に対応した子育て支援を展開します。<br>結果として、安心して子育てができる環境が整い、児童の福祉の向上が図られます。 |
| 担当部署         | 保健福祉部子ども未来室子ども育成課  |
| 関係部署         | —  |

4. 平成27年度における成果指標及び達成状況等

|                  |  |
|------------------|--|
| 成果指標             | つどいの広場子育てサポーター活動件数：300日（27年度時点、延数）                                 |
| 成果指標<br>(H25 変更) | 住んでいる地域が子育てしやすいところだと思う人の割合：58%                                     |
| 変更理由             | 当初の目標値を達成したため、まちづくり市民アンケートの「住んでいる地域が子育てしやすいところだと思う人の割合」に指標を変更しました。 |

(年度毎の達成状況)

| 年<br>指標            | 23年度 | 24年度         | 25年度  | 26年度  | 27年度  | 5年間の<br>達成状況 |
|--------------------|------|--------------|-------|-------|-------|--------------|
| 子育てサポーター活動件数       | 209日 | 323日         | —     | —     | —     | 323日         |
| 子育てしやすいところだと思う人の割合 | —    | —<br>(47.5%) | 50.4% | 47.2% | 49.1% | 49.1%        |

(※) 平成27年度からの子ども子育て支援事業計画にあわせて、目標値を50%から58%へ変更しました。

5. 重点施策に係る成果と評価

|                     |  |
|---------------------|--|
| 5年間の成果<br>(H23～H27) | 平成23～26年度までは「いきいき子どもプランⅡ」、平成27年度からは「子ども・子育て支援事業計画」に基づき、一時預かり事業やつどいの広場事業などの事業を行い、安全かつ継続的に地域における多様な子育て支援を図りました。指標の実績値は毎年度おおむね良好な結果となっており、計画の推進により一定の成果を挙げたものと考えています。 |
| 評価                  | Ⅱ  |

# 1. 大牟田市総合計画2006～2015後期基本計画の体系

|     |          |     |        |   |   |
|-----|----------|-----|--------|---|---|
| 4 編 | 健康・福祉の向上 | 4 章 | 障害保健福祉 | 節 | — |
|-----|----------|-----|--------|---|---|

## 2. 重点施策の名称

|     |          |
|-----|----------|
| 施策名 | 障害者の生活支援 |
|-----|----------|

## 3. 施策の目的と担当部署等

|              |  |
|--------------|--|
| 施策目的<br>(意図) | 障害を理由とする差別の解消及び障害のある人が日常生活及び社会生活を営む上で生じる社会的障壁の除去を推進するため、市民や事業者等に対し広報紙等を通じて、障害者等についての理解啓発を強化することで、障害のある人も障害のない人も分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現を目指します。 |
| 担当部署         | 保健福祉部福祉課   |
| 関係部署         | —  |

## 4. 平成27年度における成果指標及び達成状況等

|                  |  |
|------------------|--|
| 成果指標             | 障害福祉サービス利用者の拡大：25%増/5年   |
| 成果指標<br>(H25 変更) | 障害福祉サービス等支給決定率：25%   |
| 変更理由             | 法改正により、平成24年度から障害のある人が障害福祉サービス等を利用する場合、サービス等利用計画案を勘案した障害福祉サービス等の支給決定を行うこととなったため、より決め細やかなケアマネジメントの充実を目指し、指標を変更しました。 |
| 成果指標<br>(H27 変更) | 障害についての理解度：62%   |
| 変更理由             | 障害福祉サービス等支給決定率が100%となるが見込まれ、また、平成26年度に策定した大牟田市障害者計画において、平成31年度の「障害についての理解度」を70%に設定したことから、指標を変更しました。                |

(年度毎の達成状況)

| 年<br>指標             | 23年度    | 24年度    | 25年度  | 26年度  | 27年度  | 5年間の<br>達成状況 |
|---------------------|---------|---------|-------|-------|-------|--------------|
| 障害福祉サービス<br>利用者の増加数 | 12,798人 | 16,979人 | —     | —     | —     | —            |
| 障害福祉サー<br>ビス等支給決定率  | —       | 3.0%    | 29.6% | 80.4% | —     | —            |
| 障害について<br>の理解度      | —       | —       | —     | —     | 61.6% | 61.6%        |

※(参考) 目標値：H24年度 13,125人 (基準値) H22年度：10,156人  
H24年度 3.0% H25年度 25.0% H26年度 100.0%

## 5. 重点施策に係る成果と評価

|                     |  |
|---------------------|--|
| 5年間の成果<br>(H23～H27) | 平成26年度までは、障害者福祉のしおりの配布等により障害のある人やその家族等への制度の周知や情報提供を行うとともに、広報おおむたの折込記事等により、障害や障害者等に対する理解啓発に取り組んできました。平成27年度からは新たに作成したパンフレットを活用し啓発に努めました。その結果、市民の障害への理解度は目標値に近い数値となりました。 |
| 評価                  | Ⅱ  |

1. 大牟田市総合計画2006～2015後期基本計画の体系

|     |          |     |       |   |   |
|-----|----------|-----|-------|---|---|
| 4 編 | 健康・福祉の向上 | 5 章 | 勤労者福祉 | 節 | — |
|-----|----------|-----|-------|---|---|

2. 重点施策の名称

|     |         |
|-----|---------|
| 施策名 | 雇用対策の促進 |
|-----|---------|

3. 施策の目的と担当部署等

|              |  |
|--------------|--|
| 施策目的<br>(意図) | 地域求職者などに対し、セミナー等を通じた就業支援を行うことで雇用対策の促進を図っていきます。 |
| 担当部署         | 保健福祉部福祉課                                       |
| 関係部署         | —  |

4. 平成27年度における成果指標及び達成状況等

|      |                        |
|------|------------------------|
| 成果指標 | 労働相談会・セミナー等の参加者数：50人/年 |
|------|------------------------|

(年度毎の達成状況)

| 指標               | 年 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 5年間の達成状況         |
|------------------|---|------|------|------|------|------|------------------|
| 労働相談会・セミナー等の参加者数 |   | 57人  | 55人  | 43人  | 66人  | 33人  | 33人<br>※年平均50.8人 |

5. 重点施策に係る成果と評価

|                     |  |
|---------------------|--|
| 5年間の成果<br>(H23～H27) | <p>「労働相談会・セミナー等参加者数」は総合計画の成果指標でもあり、雇用対策促進の重要な目標と捉えています。そのため、関係機関と連携を図り、事業周知を行うなど毎年度の50人の目標値を設定し、その目標達成に努めました。平成27年度の実績値は前年度に比べ半減したものの、5年間の平均値はほぼ目標値と同数であり、5年間トータルで捉えると一定の成果は上がったものと考えています。また、緊急雇用創出基金事業を活用した就業機会を提供することで雇用対策の促進を図りました。</p> <p>○セミナー等の参加者数：254人/5年<br/>○基金事業による新規雇用者数：131人/5年</p> |
| 評価                  | Ⅱ  |

1. 大牟田市総合計画2006～2015後期基本計画の体系

|     |          |     |       |     |          |
|-----|----------|-----|-------|-----|----------|
| 4 編 | 健康・福祉の向上 | 6 章 | 健康づくり | 1 節 | 健康づくりの推進 |
|-----|----------|-----|-------|-----|----------|

2. 重点施策の名称

|     |       |
|-----|-------|
| 施策名 | 食育の推進 |
|-----|-------|

3. 施策の目的と担当部署等

|              |  |
|--------------|--|
| 施策目的<br>(意図) | 国においては、「食育基本法」を施行し、食育を国民運動として推進していくことが示されました。このため、本市においても、庁内の関係課や庁外の関係団体との連携により食育の推進を行い「健康・福祉の向上」の実現を目指します。こうした取組みの結果、「市民との協働」による施策の推進及び実現が図られるとともに、「食」を通じた生涯健康づくりが図られ、健康寿命の延伸、生活習慣病の減少、医療費の抑制等の効果も期待できます。 |
| 担当部署         | 保健福祉部健康対策課   |
| 関係部署         | —  |

4. 平成27年度における成果指標及び達成状況等

|      |                           |
|------|---------------------------|
| 成果指標 | 食育に関心を持っている市民の割合：90%以上（※） |
|------|---------------------------|

（年度毎の達成状況）

| 年<br>指標          | 23年度  | 24年度  | 25年度  | 26年度  | 27年度  | 5年間の<br>達成状況 |
|------------------|-------|-------|-------|-------|-------|--------------|
| 食育に関心を持っている市民の割合 | 69.8% | 76.1% | 78.8% | 78.0% | 72.0% | 72.0%        |

（※）H27年度目標値は、第1次食育推進計画において設定した平成27年度目標値により設定。

5. 重点施策に係る成果と評価

|                     |  |
|---------------------|--|
| 5年間の成果<br>(H23～H27) | <p>食育に関心を持っている市民の割合については、増加傾向となっていました。平成25年度以降は低下傾向となっています。低下した要因としては、食育等に関する健康教育の実施回数や参加者数が減少したことが考えられます。</p> <p>食育のボランティア組織である食生活改善推進員協議会の活動人数及び活動回数については、新規入会者はあるものの、高齢化による退会者も増加しており、全体的には減少傾向となっています。</p> <p>今後は、家庭、学校、地域、関係団体などとの連携により、地域健康力アップ推進事業などを活用した地域での実践を重視した食育の推進に取り組むことが重要と言えます。</p> |
| 評価                  | Ⅲ  |

1. 大牟田市総合計画2006～2015後期基本計画の体系

|     |          |     |       |     |       |
|-----|----------|-----|-------|-----|-------|
| 4 編 | 健康・福祉の向上 | 6 章 | 健康づくり | 2 節 | 保健・医療 |
|-----|----------|-----|-------|-----|-------|

2. 重点施策の名称

|     |           |
|-----|-----------|
| 施策名 | 地域保健医療の充実 |
|-----|-----------|

3. 施策の目的と担当部署等

|              |   |
|--------------|---|
| 施策目的<br>(意図) | 保健・医療・福祉の連携を基盤とした福岡県保健福祉医療計画や高齢者保健福祉計画等を推進し、市民の健康を守る地域医療の充実に努めます。また、かかりつけ医、かかりつけ薬局の定着を促進するとともに、平日時間外小児診療や休日急患対策の維持、強化を図ります。 |
| 担当部署         | 保健福祉部生活衛生課  |
| 関係部署         | —   |

4. 平成27年度における成果指標及び達成状況等

|      |                |
|------|----------------|
| 成果指標 | かかりつけ医の定着度：80% |
|------|----------------|

(年度毎の達成状況)

| 年<br>指標        | 23年度  | 24年度  | 25年度  | 26年度  | 27年度  | 5年間の<br>達成状況 |
|----------------|-------|-------|-------|-------|-------|--------------|
| かかりつけ医<br>の定着度 | 76.2% | 79.5% | 76.7% | 73.0% | 81.5% | 81.5%        |

5. 重点施策に係る成果と評価

|                     |  |
|---------------------|--|
| 5年間の成果<br>(H23～H27) | <p>医師の高齢化や医院の廃止などの問題もある中、医師会・歯科医師会の協力により、休日急患業務・平日時間外小児診療等、1日も欠かすことなく医療の提供を行い、地域保健医療の充実に努めました。特に、小児医不足での小児救急については、当番医で判断をしながら必要な場合は専門医を紹介することで対応しています。</p> <p>また、地域医療連携に関しては、その中核となる地域医療連携病院である大牟田市立病院が、地域医療機関からの紹介率、及び急性期から脱した患者を地域の医療機関へ紹介する逆紹介率についても、高い数字を挙げ続けています。</p> <p>したがって、5年間の成果としては、一定の結果が残せたものと考えます。</p> |
| 評価                  | I  |



1. 大牟田市総合計画2006～2015後期基本計画の体系

|     |          |     |      |   |   |
|-----|----------|-----|------|---|---|
| 4 編 | 健康・福祉の向上 | 7 章 | 社会保障 | 節 | — |
|-----|----------|-----|------|---|---|

2. 重点施策の名称

|     |                |
|-----|----------------|
| 施策名 | 国民健康保険事業の健全な運営 |
|-----|----------------|

3. 施策の目的と担当部署等

|              |  |
|--------------|--|
| 施策目的<br>(意図) | 国民健康保険被保険者が健康づくりに関する意識を高め、さらに、年1回の特定健康診査を受診し、必要に応じて保険者が行う特定保健指導を受けることで、生活習慣病などの疾病の早期発見・早期治療ができます。また、料理講習会などの事業を通じた日頃の生活習慣の改善の取り組みが疾病の予防、重症化の防止に繋がります。<br>このような取り組みが医療費の適正化を推進し、ひいては財政の健全化に寄与することとなります。 |
| 担当部署         | 市民部保険年金課   |
| 関係部署         | 市民部納税課   |

4. 平成27年度における成果指標及び達成状況等

|      |                   |
|------|-------------------|
| 成果指標 | 特定健康診査受診率：50% (※) |
|------|-------------------|

(年度毎の達成状況)

| 年<br>指標       | 23年度  | 24年度  | 25年度  | 26年度  | 27年度  | 5年間の<br>達成状況 |
|---------------|-------|-------|-------|-------|-------|--------------|
| 特定健康診査<br>受診率 | 27.5% | 28.4% | 30.0% | 30.2% | 31.2% | 31.2%        |

(※) 第2期特定健康診査等実施計画 (25年度～29年度) において、目標値を見直しました。

5. 重点施策に係る成果と評価

|                     |   |
|---------------------|---|
| 5年間の成果<br>(H23～H27) | <p>国保は全国的に加入者に高齢者や低所得者が多いといった構造的な問題を抱えており、市町村国保は厳しい財政運営となっていることから、保険者の責務として国保事業の健全な運営を図るには医療費の適正化が重要となっています。このため、生活習慣病の予防や疾病の早期発見などの保健事業と併せ、ジェネリック医薬品の使用促進などに継続して取り組みました。</p> <p>なかでも特定健康診査においては、未受診者等に対する受診勧奨や、集団健診をがん検診や歯周病検診と同時に実施するなどの取り組みを行い、少しずつではありますが受診率は年々増加しています。</p> <p>しかしながら、成果指標は目標に達していないため、特定健康診査等実施計画等をもとに、受診率向上に引き続き取り組みます。</p> <p>なお、平成30年度以降、財政運営の責任主体を都道府県に移行し、制度の安定化を図るものとされていることから、市町村として円滑な移行に努めます。</p> |
| 評価                  | Ⅲ   |

1. 大牟田市総合計画2006～2015後期基本計画の体系

|     |         |     |      |   |   |
|-----|---------|-----|------|---|---|
| 5 編 | 教育文化の向上 | 1 章 | 生涯学習 | 節 | — |
|-----|---------|-----|------|---|---|

2. 重点施策の名称

|     |                  |
|-----|------------------|
| 施策名 | 生涯学習ボランティアの育成と支援 |
|-----|------------------|

3. 施策の目的と担当部署等

|              |   |
|--------------|---|
| 施策目的<br>(意図) | 多くの人に、やりがいや達成感を味わってもらうために、学習成果を生かしたボランティア活動に取り組むことができるようにします。<br>また、ボランティア団体等が講師等を務めることで、市民の学習する機会の拡充を図ります。 |
| 担当部署         | 市民協働部生涯学習課  |
| 関係部署         | 市民協働部地域コミュニティ推進課  |

4. 平成27年度における成果指標及び達成状況等

|      |                      |
|------|----------------------|
| 成果指標 | 登録ボランティアの活動率：85% (※) |
|------|----------------------|

(年度毎の達成状況)

| 年<br>指標      | 23年度  | 24年度  | 25年度  | 26年度  | 27年度  | 5年間の<br>達成状況 |
|--------------|-------|-------|-------|-------|-------|--------------|
| 登録ボランティアの活動率 | 76.7% | 82.4% | 80.6% | 79.1% | 80.5% | 80.5%        |

(※) 23年度に初期目標(75%)を達成したことから、25年度において、27年度目標値を85%へと修正しました。

5. 重点施策に係る成果と評価

|                     |  |
|---------------------|--|
| 5年間の成果<br>(H23～H27) | <p>学んだ成果を生かしたボランティア活動につながるようなボランティア養成講座を実施しました。参加者366人のうち176人が継続した活動につながりました。講座終了後も立ち上がったボランティアグループが自立した活動ができるよう支援を行っています。</p> <p>ボランティア登録派遣事業では、この5年間で登録件数は157組から195組へ、延べ登録数は953人から1,435人へ、派遣回数は756回から995回へと増加しました。活動率についても76.7%から80.5%となり活性化が図られています。新たな分野での登録もあり、依頼者の要望に応えるための人材や活動内容は年々充実したものとなっています。</p> <p>登録ボランティアの活動率は80.5%で、目標の85%には到達しませんでした。ボランティア養成講座受講後にボランティアを始めた人の割合では、27年度は73%となり、目標の50%を大きく上回ることができました。また、ボランティア活動に対する満足度も高く推移しています。このようなことから総合的に勘案し、評価Iとしています。</p> |
| 評価                  | I  |

1. 大牟田市総合計画2006～2015後期基本計画の体系

|     |         |     |       |   |   |
|-----|---------|-----|-------|---|---|
| 5 編 | 教育文化の向上 | 2 章 | 青少年育成 | 節 | — |
|-----|---------|-----|-------|---|---|

2. 重点施策の名称

|     |                      |
|-----|----------------------|
| 施策名 | 子どもの生きる力をはぐくむ体験活動の充実 |
|-----|----------------------|

3. 施策の目的と担当部署等

|              |  |
|--------------|--|
| 施策目的<br>(意図) | 子どもたちが、健やかに成長、発達するとともに、自主的・自発的に各種学習活動ができるように、子どもたちに様々な体験活動の場と機会を提供します。 |
| 担当部署         | 市民協働部地域コミュニティ推進課   |
| 関係部署         | 市民協働部地域コミュニティ推進課（公民館）  |

4. 平成27年度における成果指標及び達成状況等

|      |                 |
|------|-----------------|
| 成果指標 | 子どもの居場所新設：1か所/年 |
|------|-----------------|

(年度毎の達成状況)

| 年<br>指標       | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 5年間の<br>達成状況 |
|---------------|------|------|------|------|------|--------------|
| 子どもの<br>居場所新設 | 4か所  | 0か所  | 1か所  | 1か所  | 2か所  | 8か所          |

5. 重点施策に係る成果と評価

|                     |   |
|---------------------|---|
| 5年間の成果<br>(H23～H27) | <p>各地域において自主的に実行委員会を立上げ開設する子どもの居場所での活動を通じて、社会のルールの習得や人間関係形成能力など、子どもの生きる力を育てる機会を提供しました。成果指標である子どもの居場所新設については、年によっては達成できていない年もありますが、5年間でみると目標以上の居場所開設ができました。</p> <p>また、地域の大人がボランティアスタッフとして実行委員会を立上げ実施する通学合宿に、子どもたちが参加することにより、規則正しい生活習慣を身につけ、働くこと・協力することの大切さを学ぶ機会の提供とともに、地域で子どもを育てる機運が高まりました。</p> <p>併せて、公民館こども体験講座を通して、家庭や学校では得にくい体験活動の場と機会を提供しました。</p> |
| 評価                  | II  |

### 1. 大牟田市総合計画2006～2015後期基本計画の体系

|     |         |     |      |   |   |
|-----|---------|-----|------|---|---|
| 5 編 | 教育文化の向上 | 3 章 | 学校教育 | 節 | — |
|-----|---------|-----|------|---|---|

### 2. 重点施策の名称

|     |           |
|-----|-----------|
| 施策名 | 学校再編整備の推進 |
|-----|-----------|

### 3. 施策の目的と担当部署等

|              |  |
|--------------|--|
| 施策目的<br>(意図) | 21世紀を生きる児童生徒の学校教育環境整備を図るため、長期的展望に立ち、責任ある教育行政の確保の観点から学校の小規模化に対応した学校再編整備を行います。 |
| 担当部署         | 教育委員会事務局総務課学校再編推進室   |
| 関係部署         | 学校教育課、学務課  |

### 4. 平成27年度における成果指標及び達成状況等

|      |                                       |
|------|---------------------------------------|
| 成果指標 | 再編校アンケートによる「教育環境」が向上したとする割合：80%以上／各再編 |
|------|---------------------------------------|

(年度毎の達成状況)

| 年<br>指標                 | 23年度 | 24年度 | 25年度  | 26年度 | 27年度  | 5年間の<br>達成状況   |
|-------------------------|------|------|-------|------|-------|----------------|
| 再編校において「教育環境」が向上したとする割合 | —    | —    | 95.9% | —    | 80.0% | 88.0%<br>※両校平均 |

(※) 25年度・・・天の原小開校、27年度・・・宅峰中開校

### 5. 重点施策に係る成果と評価

|                     |   |
|---------------------|---|
| 5年間の成果<br>(H23～H27) | <p>学校再編整備第二次実施計画に基づき、天道小学校・笹原小学校を再編し平成25年4月に天の原小学校を開校、右京中学校・船津中学校・延命中学校を再編し平成27年4月に宅峰中学校を開校するとともに、上官小学校・大牟田小学校の再編による平成28年4月の大牟田中央小学校の開校準備を完了しました。</p> <p>本計画により、児童生徒が多様な人間関係やクラス替えを経験できたり、学校施設の充実が図られるなど、施策の成果指標である教育環境の向上について目標を達成しています。また、市立学校適正規模・適正配置計画に基づく米生・勝立中学校の再編及び、駛馬南・駛馬北小学校の再編準備を進めました。</p> |
| 評価                  | I   |

## 1. 大牟田市総合計画2006～2015後期基本計画の体系

|     |         |     |      |   |   |
|-----|---------|-----|------|---|---|
| 5 編 | 教育文化の向上 | 4 章 | 高等教育 | 節 | — |
|-----|---------|-----|------|---|---|

## 2. 重点施策の名称

|     |           |
|-----|-----------|
| 施策名 | 産学連携強化の促進 |
|-----|-----------|

## 3. 施策の目的と担当部署等

|              |   |
|--------------|---|
| 施策目的<br>(意図) | 高等教育機関等の持つシーズを活用し、企業の新技術、新製品の開発等の課題解決が図られることを目指します。 |
| 担当部署         | 産業経済部産業振興課  |
| 関係部署         | —   |

## 4. 平成27年度における成果指標及び達成状況等

|      |                               |
|------|-------------------------------|
| 成果指標 | 技術開発等に係る産学連携の研究のマッチング件数：5件／5年 |
|------|-------------------------------|

(年度毎の達成状況)

| 年<br>指標                 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 5年間の<br>達成状況 |
|-------------------------|------|------|------|------|------|--------------|
| 技術開発等に係る産学連携の研究のマッチング件数 | 6件   | 8件   | 6件   | 6件   | 10件  | 36件          |

## 5. 重点施策に係る成果と評価

|                     |   |
|---------------------|---|
| 5年間の成果<br>(H23～H27) | <p>企業が抱えている新製品・新技術開発等のニーズに応えるため、(公財)大牟田市地域活性化センターに配属されている産学連携コーディネーター等が企業訪問等を行い、有明高専、福岡大学等の学術機関及び国、県等の研究機関が有するシーズの中から最適な研究者とのマッチングを支援し、5年間で36件が成立しました。これにより、市内企業の技術課題の解決・技術開発に繋がりました。</p> <p>また、高等教育機関のシーズと企業のニーズについて、お互いの情報が共有されるように、有明広域産業技術振興会の事業を行うとともに、大牟田産学官連環交流会事業を開催し産学連携に関する成功事例の発表等も行いました。</p> <p>マッチングの件数も毎年度成立が継続していることから、市内企業の技術課題解決に向けた産学連携の必要性の意識も高まっているものと思います。</p> |
| 評価                  | I   |

### 1. 大牟田市総合計画2006～2015後期基本計画の体系

|     |         |     |      |   |   |
|-----|---------|-----|------|---|---|
| 5 編 | 教育文化の向上 | 5 章 | 文化芸術 | 節 | — |
|-----|---------|-----|------|---|---|

### 2. 重点施策の名称

|     |                    |
|-----|--------------------|
| 施策名 | 世界遺産本登録に向けた取り組みの推進 |
|-----|--------------------|

### 3. 施策の目的と担当部署等

|              |  |
|--------------|--|
| 施策目的<br>(意図) | 「九州・山口の近代化産業遺産群」の構成資産となっている、宮原坑、三池炭鉱専用鉄道敷跡、三池港の世界遺産登録を目指します。<br>構成資産以外の近代化産業遺産の保存、継承を行います。<br>施設の公開やセミナー等を通じ、「九州・山口の近代化産業遺産群」の本市構成資産及びその他の近代化産業遺産の保存、継承に向けた市民理解、盛り上がりにつなげます。 |
| 担当部署         | 企画総務部世界遺産・文化財室   |
| 関係部署         | 企画総務部総合政策課   |

### 4. 平成27年度における成果指標及び達成状況等

|                  |   |
|------------------|---|
| 成果指標             | 公開・啓発事業への参加者数：10,000人／年                                       |
| 成果指標<br>(H26 変更) | 公開・啓発事業への参加者数：1,000人/年度の増加<br>世界遺産登録年度は50,000人                |
| 変更理由             | 平成25年度の来訪者見込者数を15,000人とし、以降各年度1,000人の増加、世界遺産登録年度は50,000人を目指す。 |

(年度毎の達成状況)

| 年<br>指標      | 23年度   | 24年度   | 25年度    | 26年度    | 27年度     | 5年間の<br>達成状況 |
|--------------|--------|--------|---------|---------|----------|--------------|
| 事業への<br>参加者数 | 4,850人 | 8,374人 | 13,831人 | 15,920人 | 129,400人 | 129,400人     |

### 5. 重点施策に係る成果と評価

|                     |   |
|---------------------|---|
| 5年間の成果<br>(H23～H27) | 平成27年の世界遺産登録に向け、国、「九州・山口の近代化産業遺産群」世界遺産登録推進協議会、関係団体等と連携して登録に向けた各種取組みをすすめてきた結果、「明治日本の産業革命遺産」が第39回世界遺産委員会で世界遺産に登録されました。<br>評価結果については、市民理解度の目標達成度84.3%を勘案し、評価Ⅱとしています。 |
| 評価                  | Ⅱ   |

1. 大牟田市総合計画2006～2015後期基本計画の体系

|     |         |     |      |   |   |
|-----|---------|-----|------|---|---|
| 5 編 | 教育文化の向上 | 6 章 | スポーツ | 節 | — |
|-----|---------|-----|------|---|---|

2. 重点施策の名称

|     |                    |
|-----|--------------------|
| 施策名 | 多様なスポーツ活動の機会づくりの推進 |
|-----|--------------------|

3. 施策の目的と担当部署等

|              |   |
|--------------|---|
| 施策目的<br>(意図) | 市民の誰もがどこでも生涯にわたり、それぞれのライフスタイルや心身の状況に応じてスポーツに親しみ、健康で明るい生活が送れるよう、スポーツに親しめる教室や地域行事など地域や年齢層に応じ多様なスポーツ活動の機会をつくりまします。 |
| 担当部署         | 市民協働部スポーツ推進室  |
| 関係部署         | —   |

4. 平成27年度における成果指標及び達成状況等

|      |                     |
|------|---------------------|
| 成果指標 | 成人のスポーツ実施率：週1回以上40% |
|------|---------------------|

(年度毎の達成状況)

| 年<br>指標        | 23年度  | 24年度  | 25年度  | 26年度  | 27年度  | 5年間の<br>達成状況 |
|----------------|-------|-------|-------|-------|-------|--------------|
| 成人の<br>スポーツ実施率 | 26.8% | 29.7% | 27.2% | 25.3% | 23.8% | 23.8%        |

5. 重点施策に係る成果と評価

|                     |  |
|---------------------|--|
| 5年間の成果<br>(H23～H27) | <p>ライフスタイルの変化や児童数の減少などにより、目標値の達成には至りませんでした。指定管理者である特定非営利活動法人大牟田市体育協会や大牟田市スポーツ都市宣言推進協議会等と連携を行いながら、各種スポーツ教室や「スポーツ市民の祭典」、「市民健康マラソン大会」の実施、「チャレンジデーへの参加」をはじめ、幼少期からスポーツに慣れ親しむことは今後の習慣化につながることから、「親子運動セミナー」の実施やスポーツ少年団の育成にも努めてきたところです。</p> <p>また、身近な地域でスポーツに触れ合うことができるよう、地域から選出されたスポーツ推進委員等と連携を図りながら、地域スポーツ行事への支援、「地域ふれあい元気ウォーキング」、「スロージョギング教室」などを実施し、この他「スポーツカレンダー」の作成・配布やニュースポーツ体験教室などを実施し、生涯スポーツの推進を図ることでスポーツの機会づくりにつながりました。</p> <p>このようなことから、総合的に勘案し、Ⅲ評価としています。</p> |
| 評価                  | Ⅲ  |

1. 大牟田市総合計画2006～2015後期基本計画の体系

|   |       |    |        |   |   |
|---|-------|----|--------|---|---|
| 編 | 計画の推進 | 1章 | 市民との協働 | 節 | — |
|---|-------|----|--------|---|---|

2. 重点施策の名称

|     |             |
|-----|-------------|
| 施策名 | 地域コミュニティの形成 |
|-----|-------------|

3. 施策の目的と担当部署等

|              |   |
|--------------|---|
| 施策目的<br>(意図) | 地域コミュニティの望ましいあり方を示した「地域コミュニティ基本指針」に基づき、心豊かな地域づくり、まちづくりの推進母体となる校区まちづくり協議会の形成とそれを担う人材の育成に向けた取り組みを進めることにより、地域コミュニティが再生されることを目指します。 |
| 担当部署         | 市民協働部地域コミュニティ推進課  |
| 関係部署         | —   |

4. 平成27年度における成果指標及び達成状況等

|      |                     |
|------|---------------------|
| 成果指標 | 校区自治組織の組織化：全小学校区(※) |
|------|---------------------|

(年度毎の達成状況)

| 年<br>指標    | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 5年間の<br>達成状況 |
|------------|------|------|------|------|------|--------------|
| 校区自治組織の組織化 | 4組織  | 10組織 | 15組織 | 15組織 | 18組織 | 18組織         |

(※) 学校再編：天道小と笹原小を再編し平成25年4月に天の原小を開校したことにより、市内22校区から21校区へ。

(※) 平成28年4月に上官小と大牟田小の再編が行われ、大牟田中央小が開校し市内20校区へ。新たに大牟田中央校区まちづくり協議会が設立。

5. 重点施策に係る成果と評価

|                     |  |
|---------------------|--|
| 5年間の成果<br>(H23～H27) | <p>平成27年度までに全校区での校区まちづくり協議会の設立を目標として地域とともに取り組みを進めたところ、21校区中18校区で校区まちづくり協議会の設立が実現し、達成率は85.7%まで進みました。</p> <p>また、校区まちづくり協議会制度の構築から5年、協働のまちづくり推進条例の施行を踏まえ、交付金制度の検証を行い、校区まちづくり協議会設置校区の安定的な運営支援を継続するとともに、未設置校区に対しても、校区まちづくり協議会の設立を後押しする交付金制度への見直しを行いました。</p> |
| 評価                  | II   |



1. 大牟田市総合計画2006～2015後期基本計画の体系

|   |       |    |       |   |   |
|---|-------|----|-------|---|---|
| 編 | 計画の推進 | 2章 | 人権の尊重 | 節 | — |
|---|-------|----|-------|---|---|

2. 重点施策の名称

|     |         |
|-----|---------|
| 施策名 | 啓発活動の推進 |
|-----|---------|

3. 施策の目的と担当部署等

|              |   |
|--------------|---|
| 施策目的<br>(意図) | あらゆる人権問題に対する市民一人ひとりの理解と認識が深まり、すべての人がお互いの人権を認め合い尊重し合う、人権尊重社会の実現を目指すものです。 |
| 担当部署         | 市民協働部人権・同和・男女共同参画課  |
| 関係部署         | 教育委員会事務局人権・同和教育課  |

4. 平成27年度における成果指標及び達成状況等

|      |                         |
|------|-------------------------|
| 成果指標 | 参加者アンケートによる内容の理解度：90%以上 |
|------|-------------------------|

(年度毎の達成状況)

| 年<br>指標           | 23年度  | 24年度  | 25年度  | 26年度  | 27年度  | 5年間の<br>達成状況 |
|-------------------|-------|-------|-------|-------|-------|--------------|
| 参加者アンケートによる内容の理解度 | 80.9% | 82.6% | 79.0% | 98.4% | 91.9% | 91.9%        |

5. 重点施策に係る成果と評価

|                     |   |
|---------------------|---|
| 5年間の成果<br>(H23～H27) | <p>あらゆる人権問題に対する理解と認識を深めるため、人権フェスティバルをはじめ、様々な啓発活動を実施しました。特に、人権フェスティバルでは、参加者の内容の理解度は高く、市民の人権意識の高揚を図ることができました。</p> <p>また、まちづくり市民アンケートでは「差別等がない」と回答する市民の割合も、概ね40%を推移しており、目標としていた50%には達していませんが、継続的な啓発活動によって、維持につながっているものと思われます。</p> <p>評価については、まちづくり市民アンケートの結果も勘案したところで、評価Ⅱとしています。</p> |
| 評価                  | Ⅱ   |

1. 大牟田市総合計画2006～2015後期基本計画の体系

|   |       |    |             |   |   |
|---|-------|----|-------------|---|---|
| 編 | 計画の推進 | 3章 | 男女共同参画社会の形成 | 節 | — |
|---|-------|----|-------------|---|---|

2. 重点施策の名称

|     |                    |
|-----|--------------------|
| 施策名 | 政策・方針決定過程への女性の参画促進 |
|-----|--------------------|

3. 施策の目的と担当部署等

|              |   |
|--------------|---|
| 施策目的<br>(意図) | 市における政策・方針決定の場に女性も男性と等しく参画することにより、性別にかかわらず、その個性や能力を發揮することができる男女共同参画社会の形成を目指します。 |
| 担当部署         | 市民協働部人権・同和・男女共同参画課  |
| 関係部署         | 企画総務部人事課  |

4. 平成27年度における成果指標及び達成状況等

|      |                           |
|------|---------------------------|
| 成果指標 | 審議会等における女性委員の登用率：40%以上(※) |
|------|---------------------------|

(年度毎の達成状況)

| 年<br>指標         | 23年度  | 24年度  | 25年度  | 26年度  | 27年度  | 5年間の<br>達成状況 |
|-----------------|-------|-------|-------|-------|-------|--------------|
| 審議会における女性委員の登用率 | 27.4% | 32.8% | 34.6% | 36.5% | 38.4% | 38.4%        |

(※) 第2次男女共同参画プランにおいて、25年度以降の目標値を35%から40%へ上方修正しました。

5. 重点施策に係る成果と評価

|                     |   |
|---------------------|---|
| 5年間の成果<br>(H23～H27) | 第2次おおむた男女共同参画プランの中で、審議会等委員への女性の登用率についての目標値を定めています。この目標値の達成のため、様々な分野で活動している女性の情報を収集し、女性人材リストへの登録を働きかけてきました。これらの結果として、審議会等委員への女性の登用率は平成23年度の27.4%から平成27年度は38.4%と11ポイント上昇しました。 |
| 評価                  | II  |

1. 大牟田市総合計画2006～2015後期基本計画の体系

|   |       |    |       |   |   |
|---|-------|----|-------|---|---|
| 編 | 計画の推進 | 4章 | 行財政運営 | 節 | — |
|---|-------|----|-------|---|---|

2. 重点施策の名称

|     |           |
|-----|-----------|
| 施策名 | 効果的な施策の推進 |
|-----|-----------|

3. 施策の目的と担当部署等

|              |  |
|--------------|--|
| 施策目的<br>(意図) | 部局運営方針を核とした総合的な行政マネジメントシステムにより、総合計画の進捗管理を行いながら、総合計画に掲げる施策や事務事業の検証を行い、問題点や課題を発見し、常に改善につなげていくという行政マネジメントサイクルを確立することで、効果的、効率的にまちづくりを進めます。 |
| 担当部署         | 企画総務部総合政策課   |
| 関係部署         | —  |

4. 平成27年度における成果指標及び達成状況等

|      |                        |
|------|------------------------|
| 成果指標 | 総合計画重点施策の成果指標の達成率：100% |
|------|------------------------|

(年度毎の達成状況)

| 年<br>指標  | 23年度  | 24年度  | 25年度  | 26年度  | 27年度  | 5年間の<br>達成状況 |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|--------------|
| 成果指標の達成率 | 87.1% | 88.9% | 89.4% | 88.5% | 88.0% | 88.0%        |

5. 重点施策に係る成果と評価

|                     |  |
|---------------------|--|
| 5年間の成果<br>(H23～H27) | 行政評価と部局運営方針との連携により、目標の公表から評価・改善策の検討を行い、達成状況を公表していくという行政マネジメントサイクルの流れが明確化され、この総合計画の期間において職員の間にも定着が図られてきました。<br>毎年の評価・改善を繰り返していくことにより、総合計画2006～2015後期基本計画に掲げる各施策・事業を効果的・効率的に進めていくことができました。 |
| 評価                  | Ⅱ  |

1. 大牟田市総合計画2006～2015後期基本計画の体系

|   |       |    |           |   |   |
|---|-------|----|-----------|---|---|
| 編 | 計画の推進 | 5章 | 高度情報化への対応 | 節 | — |
|---|-------|----|-----------|---|---|

2. 重点施策の名称

|     |          |
|-----|----------|
| 施策名 | 電子市役所の構築 |
|-----|----------|

3. 施策の目的と担当部署等

|              |  |
|--------------|--|
| 施策目的<br>(意図) | 行政手続きのオンライン化については、市民や企業等が自宅や職場からインターネットを通して、公的個人認証等を利用した各種申請や届出の手続きができる仕組みを構築し、その利活用を図ることが出来る状態になることです。また、平成24年に住民情報システムの再構築により基幹業務を様々なメーカーのソフトやハードウェアの組み合わせで構築されるオープン系システムに移行したことで、システムの運用管理についてコスト削減、業務の効率化等を適宜進めることが出来る状態になることです。 |
| 担当部署         | 企画総務部情報化推進室  |
| 関係部署         | —  |

4. 平成27年度における成果指標及び達成状況等

|                  |   |
|------------------|---|
| 成果指標             | オンライン化された行政手続きの利用件数：800件/年                                      |
| 成果指標<br>(H24 変更) | オンライン化された行政手続きの総件数に占める割合：20.0%                                  |
| 変更理由             | 地方税の電子申告・電子申請の普及により目標値を達成したこと、また、より成果を図る指標として、総件数に占める割合に変更しました。 |

(年度毎の達成状況)

| 年<br>指標       | 23年度   | 24年度   | 25年度  | 26年度  | 27年度  | 5年間の<br>達成状況 |
|---------------|--------|--------|-------|-------|-------|--------------|
| 利用件数          | 1,992件 | 2,507件 | —     |       |       | —            |
| 総件数に<br>占める割合 | —      | —      | 11.4% | 14.8% | 16.5% | 16.5%        |

5. 重点施策に係る成果と評価

|                     |   |
|---------------------|---|
| 5年間の成果<br>(H23～H27) | <p>行政手続きのオンライン化については、税の電子申告であるeLTAXの普及などにより電子申請の割合が増加しました。また、関係各課への説明会の開催等により、電子申請の種類を増やすこともできました。</p> <p>基幹業務の運用管理については、ホストコンピュータからオープン系システムへの移行により、コスト削減を行うことができ、また、パッケージソフトを利用した運用としたことで、業務の効率化にも繋がり、ほぼ目標を達成できました。</p> |
| 評価                  | Ⅱ   |

1. 大牟田市総合計画2006～2015後期基本計画の体系

|   |       |    |      |   |   |
|---|-------|----|------|---|---|
| 編 | 計画の推進 | 6章 | 広域連携 | 節 | — |
|---|-------|----|------|---|---|

2. 重点施策の名称

|     |            |
|-----|------------|
| 施策名 | 広域的行政運営の推進 |
|-----|------------|

3. 施策の目的と担当部署等

|              |  |
|--------------|--|
| 施策目的<br>(意図) | <p>様々な施策分野で互いに連携・協力し、「定住」のための暮らしに必要な諸機能を圏域全体として確保するとともに、「自立」のための経済基盤や地域の誇りを培うことで、魅力ある地域づくりを目指し、圏域全体を活性化していきます。</p> <p>また、各市・町が連携・協調のもと、各種課題の解決に向けて取り組むことで、地域の振興、活性化を図っていきます。</p> |
| 担当部署         | 企画総務部総合政策課   |
| 関係部署         | —  |

4. 平成27年度における成果指標及び達成状況等

|      |                 |
|------|-----------------|
| 成果指標 | 圏域市町との協定の締結：5市町 |
|------|-----------------|

(年度毎の達成状況)

| 年<br>指標     | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 5年間の<br>達成状況 |
|-------------|------|------|------|------|------|--------------|
| 圏域市町との協定の締結 | 2市町  | 5市町  | 5市町  | 5市町  | 5市町  | 5市町          |

5. 重点施策に係る成果と評価

|                     |   |
|---------------------|---|
| 5年間の成果<br>(H23～H27) | <p>更なる人口減少や少子高齢化の進行等に伴う様々な課題への対応といった今後の厳しい状況を背景に、平成22年10月、大牟田市、柳川市、みやま市の3市で定住自立圏の取組みを開始し、平成25年3月には、熊本県側の荒尾市、南関町、長洲町との連携を開始しました。</p> <p>以降、各市町の首長及び議長、また、職員が定期的に顔を合わせて情報交換や意見交換を行う機会を設けながら、共生ビジョンに基づく取組みを進めてきました。具体的な取り組みとしては、休日急患診療体制の確保や図書館の相互利用、高齢者等SOSネットワーク構築や愛情ねっこの利用など圏域住民のサービスの向上や生活に安心をもたらす取組みなどが進んでいます。</p> <p>評価結果については、各協定項目の取組状況（全76(各市町累計)取組中71項目実施。93.4%)を勘案したところで、評価Ⅱとしています。</p> |
| 評価                  | Ⅱ   |

1. 大牟田市総合計画2006～2015後期基本計画の体系

|   |       |    |      |   |   |
|---|-------|----|------|---|---|
| 編 | 計画の推進 | 7章 | 国際交流 | 節 | — |
|---|-------|----|------|---|---|

2. 重点施策の名称

|     |              |
|-----|--------------|
| 施策名 | 友好・姉妹都市交流の推進 |
|-----|--------------|

3. 施策の目的と担当部署等

|              |  |
|--------------|--|
| 施策目的<br>(意図) | 友好都市である中国大同市、姉妹都市である米国マスキーガン地域などと幅広い分野にわたって市民レベルでの交流を進め、市民の国際感覚の醸成を図りつつ、活力と特色あるまちづくりを推進します。また、中国大同市との交流の一環として、大同市の環境改善に協力することにより、ひいては我が国の環境への影響軽減にも資することになります。 |
| 担当部署         | 企画総務部総合政策課   |
| 関係部署         | —  |

4. 平成27年度における成果指標及び達成状況等

|      |                                 |
|------|---------------------------------|
| 成果指標 | 本市及び友好・姉妹都市での国際交流事業の参加者数：700人/年 |
|------|---------------------------------|

(年度毎の達成状況)

| 年<br>指標                  | 23年度 | 24年度 | 25年度   | 26年度   | 27年度   | 5年間の<br>達成状況        |
|--------------------------|------|------|--------|--------|--------|---------------------|
| 本市及び友好・姉妹都市での国際交流事業の参加者数 | 786人 | 720人 | 1,890人 | 1,245人 | 1,720人 | 1,720人<br>※平均1,272人 |

5. 重点施策に係る成果と評価

|                     |   |
|---------------------|---|
| 5年間の成果<br>(H23～H27) | <p>友好都市である大同市とは、両市友好都市交流協議書を踏まえた交流を行うとともに、市民レベルの交流を進めました。また、環境技術交流は、各種助成金を活用し、環境専門家の派遣や環境研修員の受入を実施しました。</p> <p>姉妹都市であるマスキーガン地域とは、中高生ホームステイ団の相互派遣をはじめ、マスキーガンからの公式訪問団の受入れ、姉妹都市締結20周年を記念したマスキーガンへの公式訪問団の派遣などの姉妹都市交流を行いました。</p> |
| 評価                  | I   |



大牟田市総合計画 2006～2015 後期基本計画  
重点施策の達成状況報告書

平成28年12月

発行：大牟田市企画総務部総合政策課

〒836-8666 福岡県大牟田市有明町2丁目3番地

TEL：(0944) 41-2501

FAX：(0944) 41-2552

<http://www.city.omuta.lg.jp/>